※入札公告を必ず確認してください。（海老名市ホームページに掲載しています）

入札案件概要書（一般委託）

契約番号：8676

件　　名	海老名市立わかば会館及び海老名市立障がい者地域活動センター施設維持管理業務委託	
履行場所	海老名市中新田 383 番地の１　ほか	
期　　間	令和８年 12 月 22 日　～　令和 12 年３月 31 日	
契約の内容等	別紙　仕様書等　のとおり ○長期継続契約　○入札は期間全体の税抜金額 ○令和８年度の支払いはありません。	
予定価格	82,854,035 円（税込）	75,321,850 円（税抜）
最低制限価格	有り（開札後算定型） 詳細は海老名市最低制限価格等取扱基準及び入札説明書等を参照してください。	
落札候補者の入札金額が、調査基準価格（50%）未満の場合 ※ただし、予定価格（税込）100 万円以下の案件は除く。	低入札履行確認調査を実施します。詳細は低入札による履行確認調査取扱基準を参照してください。 契約締結にあたっての制限等 ○　前払金額の制限 **契約金額の 15%以内（海老名市契約規則により、前払金が適用となる場合に限ります。）※前払金の上限金額は 5,000 万円以下** ○　業務主任者及び管理技術者の他案件（本市入札案件）との兼任不可 契約保証 契約金額の 30%以上に相当する次のいずれかの手続きが必要です。 **※現金納付及び実績による免除はありません。** （ア）金融機関又は保証事業会社の保証 （イ）公共工事履行保証証券による保証　（履行ボンド） （ウ）履行保証保険契約の締結　（定額てん補）	
入札方法等	条件付一般競争入札（電子入札）	
質疑 （仕様等に関する事項）	所定の書式により、FAX で受け付けます。 電子入札システムの機能は使用しないでください。	

参加条件	営業種目	**425　総合建物管理の委託**	
	発注区分 区分の詳細は入札公告で確認してください。	**第 4 区分**	第１・第２区分の入札に初めて参加する場合は、営業実態調査票及び認定書の写しを提出してください。
	その他の要件	○本概要書添付の「有資格・法定研修に関する届出書」の全ての項目を満たしていること。	
	落札数制限	なし	
配置技術者について		本案件に配置する技術者等は、同じ開札日の他の案件に配置できません。	
事前提出書類 （システム添付）		参加資格確認申請時にファイルを添付してください。 ファイルは一つにまとめてください。 ○「有資格・法定研修に関する届出書」（本概要書添付の届出書を使用、次の書類を併せて提出） ・各登録及び認定を証する書類の写し ・配置技術者の資格及び３ヵ月以上の雇用を確認できる書類	

落札候補者が提出する書類 (FAX046-232-6574)	開札後、落札候補者は次の書類をＦＡＸで提出してください。 (落札候補者決定の翌開庁日午前 10 時まで。詳細は開札後 FAX で通知します。) 〇年度別支払金額内訳書（本概要書添付の内訳書を使用してください） 〇委託業務主任者等選任届　及び　資格等 及び 3 ヵ月以上の雇用を確認できる書類

有資格・法定研修に関する届出書

商号、名称＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1　入札件名
海老名市立わかば会館及び海老名市立障がい者地域活動センター施設維持管理

2　会社または営業所に必要な資格

（1）建築物環境衛生管理に関する登録

業　　名	認 定 許 可 番 号
建築物環境衛生総合管理業	

（2）医療関連サービスマークの登録

業　種	認　　定　　番　　号
院内清掃業務	

3　設備資格要件（設備の資格要件として、実務経験があり、次の資格を有する者が社に在籍していること。）

資格	氏名
第二種電気工事士	
乙種第4類危険物取扱者	
防火管理者	
防災管理者	
エネルギー管理士	
ビル設備管理技能士	

4　清掃要件（清掃に関する資格として、次の資格を有する者が社に在籍していること。）

資格	氏名
建築物環境衛生管理技術者	
ビルクリーニング技能士1級	
清掃作業監督者	
建築物清掃管理評価資格者	
エコチューニング技術者	
清掃作業従事者研修指導者	

5　従事者に必要な資格（それぞれ1名以上・落札決定後の従事者変更はできません）

区　　分	氏　　名	資　　格	備　　考
運転・監視及び日常的な点検保守業務従事者			業務主任者・常駐 第二種電気工事士、危険物取扱者乙種第4類
受変電設備等以外の設備の点検整備業務従事者			第二種電気工事士
電気主任技術者			第三種電気主任技術者以上
自家用電気工作物の保守点検従事者			第一種電気工事士又は上記電気主任技術者
非常用発電設備の保守点検			非常用発電機専門技術者又は上記電気主任技術者
清掃業務責任者			ビルクリーニング技能士

6　提出書類
（1）資格を証する免状の写し、（2）雇用を確認するための書類の写し

海老名市立わかば会館及び海老名市立障がい者地域活動センター施設維持管理業務委託　仕様書

この契約は、海老名市立わかば会館（以下「会館」という。）及び海老名市立障がい者地域活動センター（以下「センター」という。）の施設を維持管理するために必要な設備管理業務、各種設備保守点検業務（環境衛生管理業務含む）、施設内及び敷地の清掃業務を行うためのものであり、その仕様については、以下のとおりとする。

■　共通事項

１　委託期間

（１）　会館

令和９年４月１日から令和12年３月31日まで

（２）　センター

令和９年５月１日から令和12年３月31日まで

２　委託場所

①　神奈川県海老名市中新田383番地の１

わかば会館（地上３階建て、地下１階、屋上あり、延床面積：3,300.23㎡）

②　神奈川県海老名市社家二丁目16番25号

海老名市立障がい者地域活動センター（地上2階建、延床面積：1,885.17㎡）

３　環境配慮事項

受注者は、次のとおりに環境に配慮するものとする。

（１）　清掃等作業時に使用する洗剤・ワックス等は、分解性の高い化学物質の含有量が低いなど環境負荷の低いものを使用する。

（２）　清掃等作業時に使用する洗剤・ワックス等は、適量を使用するとともに、清掃場所ごとに品名及び使用量を報告する。

（３）　作業時に使用する電気、水道については効率よく使用し、極力節電・節水に努める。

（４）　排出される一般廃棄物と産業廃棄物の区別は、適切に行う。

（５）　作業時に使用する機器等は、低騒音、低振動及び省電力のものとする。

（６）　機器の搬入等に使用する車両は、環境基準に適合したものを使用する。

４　委託料の請求

委託料の請求は、作業する月に行う作業分の費用を翌月に請求するものとする。

５　受託条件

（１）登録要件

建築物における衛生的環境の確保に関する法律第12条の２項に規定している建築物環境衛生

総合管理業を神奈川県もしくは神奈川県内市町村に登録しており、取り消し及び停止されていないこと。

（2）資格要件

財団法人医療関連サービス振興会が定める医療関連サービスマークの認定要件（業種：院内清掃）に適合し、認定をされていること。

（3）類似施設要件

類似施設管理実績　①施設規模3,000㎡以上、②類似施設（高齢者福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設その他これらに類する社会福祉施設）の10年以上の施設管理実績があること。

（4）設備資格要件

ア　設備の資格要件として、実務経験があり①第二種電気工事士②乙種第４類危険物取扱者、③防火管理者、④防災管理者、⑤エネルギー管理士、⑥ビル設備管理技能士の資格の①～⑥を有するものが社に在籍していること。

イ　本業務における実務経験等は、国土交通省が定める「建築保全業務積算要領：設備の点検業務について、①実務経験５年以上10年未満程度のもの　②運転・監視及び日常的な点検保守業務について、作業の内容判断ができる技術力及び必要な技能を有し、実務経験５年以上10年未満程度の者」の技術者区分とする。

（5）清掃要件

清掃に関する資格として①建築物環境衛生管理技術者、②ビルクリーニング技能士１級、③清掃作業監督者、④建築物清掃管理評価資格者、⑤エコチューニング技術者、⑥清掃作業従事者研修指導者の①～⑥までを有するものが社に在籍していること。

6　法令遵守

本委託業務履行にあたっては、海老名市契約規則、労働関係法令及び、業務履行に係る関係法令を遵守すること。

7　労働実態調査

受注者は、発注者の求めに応じて、労働実態調査（賃金、社会保険事務所、健康保険組合の加入状況、勤務時間、労働契約等）に応じること。

8　契約金額の改訂

諸材料の価格、労務費、その他に変動を生じ著しい増減を要する場合は受注者と発注者の協議の上これを改訂することができる。

9　従事者名簿等の提出

受注者は、本委託業務従事者の名簿を契約締結後、速やかに提出すること。また、従事者は、名札を着用すること。

10　疑義の解決

本仕様書に明記されていない項目で、緊急かつ速やかに処理を行う必要が生じた場合は、その都度、発注者（以下、「甲」という。）と受注者（以下、「乙」という。）が協議のうえ、決定するものとする。

また、会館及びセンターは施設機能再編に伴う大規模改修や公共施設再編計画に基づく、大規模改修の施工が決定した場合には、その工期中における各種設備保守点検及び清掃業務の定期清掃において、仕様の変更を可能とし、契約金額の見直しも協議できるものとする。その他設備改修時についても同様とする。

なお、会館については、令和９年５月頃から令和10年３月頃まで内装等の改修工事を予定している。

■　設備管理業務

設備全般の保守管理及び機器の運転操作にあたっては、乙は各設備における関係法令を遵守し、本仕様書に基づき適正な管理を行うと同時に、常に良好な室内の環境衛生の確保に努めなければならない。

1　業務内容

設備管理業務は、各関係法令に準拠し、乙は次の事項を実施する。

（1）　設備機器の運転操作及び監視

以下設備について、その内容を熟知し、機能を十分発揮できるように適正かつ確実な運転操作及び監視を実施する。

①電気関係設備（受配電設備、負荷設備、弱電設備、その他）

②空気調和等設備関係（冷暖房設備、温水器設備、空気調和設備）

③換気設備

④給排水設備

⑤衛生設備

（2）　設備の維持管理

設備の維持管理は、以下により実施し、細部要領は関係法令によるものとする。

①日常巡視点検（運転操作及び監視、各部屋の施錠確認）

②定期点検整備（精密点検、測量、整備）

③補修修理

（3）　設備に関する非常措置

地震、火災、停電、その他の非常時には、速やかに関係部署と連絡し、事象に応じた必要な措置をとるものとする。

2　配置人員

次の実務経験を有する設備管理業務従業員をそれぞれ１名以上配置すること。

①運転・監視及び日常的な点検保守業務について、高度な技術力及び判断力並びに作業の指導等の総合的な技能を有し、実務経験10年以上程度の者（建築保全業務積算要領技術者区分：保全技師補（２））

②受変電設備等以外の設備の点検整備業務について、高度な技術力及び判断力並びに作業の指導等総合的な技能を有し、実務経験15年以上程度の者（建築保全業務積算要領技術者区分：保全技師Ⅱ）

（1）　資格

配置人員は、次の資格を有する者とする。

第二種電気工事士、危険物取扱者乙種第４類

（2）　常駐人員〔会館〕

前述の２　配置人員者を常駐させ、業務主任者とすること。なお、その勤務時間及

び休日については、後述の(３)勤務時間及び(４)休日のとおりとする。

（３） 勤務時間

①午前７時30分から午後５時までとする。ただし、休日立会い業務又は地震、火災、停電等の非常時に甲が必要とした場合は、この限りではない。

②勤務時間中の休憩は、業務に支障のないように行うこと。

（４） 休日

①日曜日、国民の祝日及び休日、年末年始（12月29日から１月３日まで）

②甲の条例、規則で定める日

③①に定めた日のうち、甲が必要とした場合には、「(３)勤務時間」により勤務すること。

（５） 選任

電気主任技術者を選任すること。ただし、(２)常駐人員と兼ねることができるものとする。

(６)その他

①会館の常駐人員は、センターについても週に１回程度、定期的に巡回し、建物、設備等の異常の有無を確認するものとする。

②受注者は、日常の施設管理又は前号の巡回点検において確認された軽微な不具合等について、現場において対応可能な範囲で簡易修繕その他必要な措置を行うものとする。

また、センターの施設管理人から簡易修繕等の要請があった場合は、その内容に応じて、対応可能な範囲で必要な措置を講ずるものとする。

■　各種設備保守点検業務

設備全般の保守点検にあたっては、乙は、各設備における関係法令を遵守し、本仕様書に基づき適正な保守点検業務を実施すること。

（1）　乙は、年度当初（初年度については、契約締結後）に次の各設備保守点検の年間実施作業計画書を作成し、甲に提出する。
（2）　次の各設備の通常保守及び軽易修理、軽微な工事に要する経費は、乙の負担とする。
（3）　その他の修理に要する経費は、甲乙協議のうえ処理する。
（4）　各点検実施後、乙は報告書を甲に提出する。
（5）　各種設備の点検数及び点検時期については次のとおりとする。

〔会館〕

設　　備　　名	点　検　数　等	点　検　時　期
自家用電気工作物	月次点検	毎月
	年次点検	３月
非常用発電機設備 ※模擬負荷試験を含む	総合点検	３月
全熱交換機点検	年４回	５月、８月、11月、２月
フィルター清掃	年４回	５月、８月、11月、２月
EHP保守点検	年２回	８月、２月
換気設備点検	年２回	６月、12月
ポンプ類	年１回	８月
貯湯槽、密閉式膨張タンク	年２回	４月、10月
湧水槽・雑排水槽	年２回	８月、２月
貯水槽、高架水槽清掃 ※飲料水水質検査含む	年１回	９月
衛生害虫駆除	年２回	４月、10月
厨房内給排気フィルター清掃	年６回	偶数月
消防設備点検	総合点検	３月
	機器点検	９月
防火対象物点検	年１回	３月
グリストラップ清掃	年２回	６月、12月
植栽管理	年１回	６月
簡易専用水道検査	年１回	２月
残留塩素測定	年12回	毎月末
自動扉	年４回	６月、９月、12月、３月
飲料水水質検査	年12回	毎月
雨水枡・側溝清掃	年２回	11月、３月
温水器保守点検	年１回	６月

〔センター〕

設　　備　　名	点　検　数　等	点　検　時　期
自家用電気工作物	月次点検	毎月
	年次点検	３月
非常用発電設備点検 ※模擬負荷試験を含む	総合点検	３月
受水槽清掃 ※飲料水水質検査含む	年１回	９月
簡易専用水道検査	年１回	２月
残留塩素測定	年12回	毎月末
雨水貯留槽清掃	年１回	２月頃
衛生害虫駆除	年２回	４月、10月
ポンプ類点検	年１回	８月
EHP保守点検	年２回	８月、２月
全熱交換器点検作業及び フィルター清掃	年４回	５月、８月、11月、２月
	年４回	５月、８月、11月、２月
換気設備点検	年２回	６月、12月
厨房内給排気フィルター清掃	年６回	偶数月
消防設備点検（総合・機器）	年２回	９月（機器点検） ３月（総合点検）
防火対象物点検	年１回	３月
グリストラップ清掃	年２回	６月、12月
雨水枡・側溝清掃	年２回	11月、３月
厨房配管高圧洗浄	年１回	７月
自動扉	年４回	６月、９月、12月、３月
飲料水水質検査	年12回	毎月
湧水槽・雑排水槽	年２回	８月、２月
植栽管理	年１回	６月
温水器保守点検	年１回	６月

（６）　実施日時等この仕様書に定めのない事項及び不明な点については、その都度、甲と協議する。

1　電気設備保守点検

（1）　設備内容

〔会館〕

①自家用電気工作物	契約最大電力	５０KW
	受電電圧	６６００KV
	設備容量	２７５KVA
	引込線	ＣＶＴ　３８㎟
	保護経電器	ＯＣＲ　1台、ＤＧＲ　1台
	受電用遮断器	１２．５KV　６００A
②非常用発電機		
発電機	東京電機製	（TNGP４０KA）
	容量	３５KVA（３５KW）
	電圧	２００/１００V
	電流	１７５A
	周波数	５０Hz
	形式	P－１６-1
エンジン	ZEXEL製（２０１２年1月製造）	
	形式	BD３０
	容量	５１KW
	回転数	３０００rpm
	タンク容量	外部タンク３９０L（軽油）

〔センター〕

①自家用電気工作物	受電電圧	６６００KV
	設備容量	１７５KVA
	引込線	EM-CET３８
	保護経電器	ＯＣＲ　1台、UVR　1台
	受電用遮断器	７．２KV　４００A
②非常用発電機		
発電機	東京電機製	（TDJP７３LT）
	容量	６０KVA
	電圧	２００V
	電流	１７４A
	周波数	５０Hz
	形式	4HT４．３―G２３
エンジン	株式会社池貝ディーゼル製	

形式	直列縦置水冷4サイクル
容量	７８KW
回転数	１５００ｍｉｎ―１
タンク容量	外部タンク９５０Ｌ（軽油）

（２） 作業内容

①電気事業法第43条の規定により行う。

②設備が常に正常に作動し、非常時においても支障なく作動するように電気・機械の保守点検を行う。

③外観、機能点検及び総合点検を行う。

（３） 報告

実施後は、報告書を甲に提出する。

（４） その他

乙は、次に定める事項について、契約時点から履行期間開始までに当該事業場の状況を確認・把握し、必要書類の作成又は内容の変更手続等の準備を行い、変更の事実が発生した時点から遅滞なく、所轄公官署に変更届出等の必要な手続きを行い、その結果を甲に報告すること。

①電気事業法第42条第２項に定める保安規定の変更について

電気事業法第42条第２項に基づく保安規程の変更は、社名や事業場名の変更、保安体制や点検基準の変更などを行った場合に遅滞なく（目安として変更後30日以内）、所轄の産業保安監督部（または経済産業大臣）への届出すること。

②電気事業法第43条第３項に定める主任技術者の選任（解任）について

事業用電気工作物の設置者は主任技術者を選任したとき、または解任したときは、遅滞なくその旨を主務大臣（管轄する産業保安監督部長）に届け出なければならない。

③電気事業法施行規則第52条第２項に定める外部委託について

一定規模以下の自家用電気工作物において、電気主任技術者の「選任」を免除し、外部の個人事業者（電気管理技術者）や保安法人に保安業務を委託できる

２　EHP及び全熱交換器保守点検

（１）　点検内容及び回数

〔会館〕

機　　器　　名	数量	内　　容
空調機（室外機）	7	点検、調整、清掃
空調機（室内機）	7	点検、調整、清掃
ルームエアコン	1	点検、調整、清掃
パッケージユニット	－	点検、調整、清掃
全熱交換機	39	点検、調整、清掃
フィルター清掃	82	清掃

〔センター〕

機　　器　　名	数量	内　　容
空調機（室外機）	1	点検、調整、清掃
空調機（室内機）	3	点検、調整、清掃
全熱交換機	21	点検、調整、清掃
フィルター清掃	24	清掃

（２）　作業内容

①設備の適正かつ良好な作動を確保するため、細部の点検、整備、調整及び清掃、注油を実施する。

②点検項目は、機器の製造会社において標準とされている点検内容及び機器運転上必要な項目をすべて実施する。

（３）　フロン簡易点検

フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律に基づく点検等を３か月毎に実施する。（フロン排出抑制法簡易点検）

３　換気設備保守点検

（１）　設備内容

〔会館〕

①換気扇(天井扇)　37台

②送排風機　５台

③換気扇(シロッコファン)　５台

〔センター〕

①換気扇　　34台

②送排風機　５台

（２）　点検内容

各設備に関する設備基準を遵守し、合法的かつその機能を発揮し得るように、常に良好な状態に保守点検を行う。

◆　点検項目

①容量、風量、電流値の確認

②電動機の異音、振動、過熱の点検

③送風機の軸受温度、異音、振動の点検

④Vベルトの張り、磨耗の点検

⑤ダンパーの調整

⑥ケーシング、羽根車の汚れの有無の点検

4　ポンプ類保守点検

（1）　点検内容及び回数　〔会館〕

機　　器　　名	台数	内　　容
揚水ポンプ	2	点検、調整、清掃
給湯循環ポンプ	2	点検、調整、清掃

点検内容及び回数　〔センター〕

機　　器　　名	台数	内　　容
加圧給水ポンプ	1	点検、調整、清掃
排水水中ポンプ	3	点検、調整、清掃

（2）　作業内容

設備が、常に正常に作動するように保守点検を行う。

5　温水器保守点検

（1）　設備内容

台数　　1台

（2）　点検内容

ボイラー及び圧力容器安全規則により点検を行う。

◆　温水器本体

本体の損傷、漏れ、割れ、変形、過熱の点検、確認

◆　燃焼装置

①ガス管、配管、弁の損傷、ガス漏れの点検

②ストレーナーの詰まり、損傷の点検、確認

③バーナータイルの汚れ、損傷の点検

◆　自動制御装置

①起動、停止、装置、ガス遮断弁、電磁弁、温度調節装置の機能の異常、端子の異常、損傷の点検、確認

②電気配線の端子の異常、損傷の点検、確認

◆　付属装置

①圧力計、水温計、温度計の汚れ、適正指度表示の確認

②安全弁の漏れ、作動状態の確認

６　自動扉保守点検

（１）　保守点検整備の対象

①自動ドアーエンジン装置（本体）

②ドアーエンジン動力部装置

③ドアーエンジン制御部装置

④ドアーエンジン操作部スイッチ及び制御スイッチ

（２）　設備内容

寺岡オートドアシステム製　両開き　２台〔会館〕

三和シャッター製　両開き　２台〔センター〕

（３）　点検内容

①ドアーエンジン操作各部の点検、調整

②ドアーエンジン開閉速度、クッション作動の異常の有無の点検、調整

③ドアーエンジン装置の電気回路の異常の有無の点検、調整

④オイル漏れ、エアー漏れの有無の点検、調整

７　湧水槽〔会館〕・雑排水槽〔センター〕・雨水貯留槽〔センター〕

（１）　作業内容

①湧水槽及び雑排水槽内の清掃を行う。

②槽内に堆積した汚泥、砂、夾雑物等を吸引・除去する。

③槽壁、槽底及び流入・流出部を高圧洗浄等により洗浄する。

④排水ポンプ、フロートスイッチ等の付属設備について、清掃及び作動状況の確認を行う。

⑤清掃終了後、槽内を点検し、異常の有無を確認する。

⑥清掃により発生した汚泥等は適正に収集・運搬・処分する。

（２）　安全管理

①槽内作業は酸素欠乏・硫化水素等による危険を考慮し、安全対策を講じる。

②槽内へ立ち入る場合は、必要な換気、酸素・硫化水素等の濃度測定及び監視員の配置を行う。

③作業員は保護具、墜落防止設備等を適切に使用する。

④作業中は第三者が作業区域へ立ち入らないよう必要な措置を講じる。

（３）　作業報告書

作業前・作業中・作業後の状況を写真撮影し、清掃前後の状態が確認できるよう記録し実施後は、報告書を甲に提出する。

８　貯水槽、高架水槽清掃

（１）　作業目的

受水槽・高置水槽等の貯水槽について、槽内の汚泥・異物等を除去し、衛生的な飲料水を確保することを目的とする。

（２） 作業対象

水道法に基づく清掃等を実施すること。

〔会館〕

①貯水槽　14ｔ

②高架水槽　3.4ｔ

〔センター〕

受水槽　18ｔ

（３） 作業内容

①作業前の状況確認・水槽周辺の点検

②給水停止および水槽内の排水

③水槽内部の清掃

④壁面・底面・天井部等の洗浄

⑤汚泥・異物等の除去

⑥必要に応じて消毒作業

⑦洗浄後の水槽内点検

⑧給水・復旧

⑨作業後の漏水・設備状態の確認

⑩作業報告書の提出

（４） 作業報告書

作業前・作業中・作業後の状況を写真撮影し、清掃前後の状態が確認できるよう記録し実施後は、報告書を甲に提出する。

９　衛生害虫駆除

（１） 作業内容

建物内外に発生又は侵入するゴキブリ、ハエ、蚊、ネズミその他の衛生害虫について、発生状況を調査・確認し、適切な方法により防除を行う。

（２） 作業回数

原則として年２回の薬剤散布（６か月ごと）、生息調査は年６回(２カ月ごと)実施するものとし、具体的な実施回数及び実施時期は施設の状況を考慮して甲と協議のうえ決定する。

（３） 作業報告書

作業終了後、発生状況、防除内容、使用薬剤、処置箇所及び防除効果等を記録し、作業報告書として提出する。また、害虫の発生が著しい箇所や施設側で改善が必要な事項については、併せて報告する。

10　厨房内給排気フィルター清掃

（１） 作業内容

厨房内に設置されている換気設備等のフィルターについて、油脂、ほこり、粉じんその他の付着物を除去し、換気性能及び衛生環境の維持を図るため清掃を行う。

（２） 対象設備

厨房内換気扇・換気フード等のフィルター

（３） 作業報告書

作業前後のフィルターの状態を必要に応じて写真撮影し、作業日、対象設備、清掃内容及び異常の有無等を実施後に報告書を甲に提出する。

11　グリストラップ清掃

（１） 作業目的

厨房等に設置されたグリストラップについて、油脂、残飯、汚泥その他の堆積物を除去し、排水機能の維持及び衛生環境の確保を図る。

（２） 清掃対象

①グリストラップ本体
②バスケット及びストレーナー
③仕切板
④流入・流出部
⑤槽内壁及び槽底部
⑥その他付属設備

（３） 清掃仕様

①グリストラップ内の浮上油脂を回収する。
②バスケット及びストレーナー内の残飯、固形物等を除去する。
③槽底に堆積した汚泥、残渣等を吸引・除去する。
④槽内壁、仕切板及び各部品を洗浄する。
⑤流入管及び流出管に詰まりがないことを確認する。
⑥清掃後、バスケット、仕切板等を所定の位置に復旧する。
⑦排水の流れ及び水位を確認し、正常に機能することを確認する。

（４） 廃棄物の処理

清掃により発生した油脂、汚泥、残渣等は、関係法令に基づき適正に収集、運搬及び処分する。必要に応じて、処分を証明する書類を提出する。

（５） 作業回数

清掃は年１回を標準とし、厨房の使用状況、油脂及び汚泥の堆積状況等を考慮して適切な頻度で実施する。

（６） 作業報告書

作業前及び作業後の状況を写真等により記録する。また、作業日、清掃内容、回収物の処理状況及び設備の異常の有無を記載した作業報告書を提出する。

12　植栽管理

（１） 作業目的

敷地内の樹木について、樹形の維持、通風・採光の確保、倒木・枝折れ等の防止及び周辺環境の安全確保を目的として剪定を行う。

（２） 作業時期

樹木の種類及び生育状況を考慮し、実施する。

（３） 作業報告書

作業前後の樹木の状態を写真等により記録し、作業日、対象樹木、剪定内容、発生材の処理状況等を記載した作業報告書を提出する。

13 簡易専用水道検査

（１） 業務目的

簡易専用水道について、水道法その他関係法令に基づき、受水槽及び高置水槽等の管理状況、水質及び設備の状態を検査し、安全な飲料水の確保を図る。

（２） 検査対象

①貯水槽　14ｔ〔会館〕
②高架槽　3.4ｔ〔会館〕
③受水槽　18ｔ〔センター〕
③給水設備及び関連配管
④マンホール、オーバーフロー管、通気管等の付属設備
⑤その他、簡易専用水道の管理に必要な設備

（３） 検査回数

原則として年１回実施するものとする。

（４） 報告書

検査終了後、次の書類を提出する。

①検査結果書
②水質検査結果書
③施設点検結果
④改善を要する事項の一覧（該当する場合）
⑤その他、甲が必要と認める書類

14 残留塩素測定

（１） 目的

給水設備における残留塩素濃度を測定し、飲料水の衛生状態及び給水設備の適正な管理状況を確認する。

（２） 測定対象

①受水槽・高置水槽等から供給される給水
②建物内の給水栓（末端給水栓）
③その他、発注者が指定する箇所

（３） 測定頻度.

原則として月１回実施する。

（４） 作業報告書

測定終了後、測定結果を取りまとめた残留塩素測定記録・報告書を提出する。

15　厨房配管高圧洗浄〔センター〕

（１）　対象

①厨房内の排水管・排水枝管・横引管

②グリストラップ接続管

③必要に応じて屋外排水管・排水桝まで

（２）　洗浄方法

高圧洗浄機による管内洗浄。

（３）　作業記録

作業前・作業中・作業後の状況を写真撮影し、清掃前後の状態が確認できるよう記録し実施後は、報告書を甲に提出する。

16　雨水桝・側溝清掃

（１）　対象

①雨水桝

②側溝２３７ｍ

（２）　洗浄方法

①高圧洗浄機による側溝内を洗浄する。

②バキューム車にて汚泥等の吸引。

（３）　作業報告書

作業前・作業中・作業後の状況を写真撮影し、清掃前後の状態が確認できるよう記録し実施後は、報告書を甲に提出する。

17　資格等

（１）　各種設備保守点検業務を実施する場合は、設備管理業務主任者が立ち会うものとする。

（２）　自家用電気工作物の保守点検は、第一種電気工事士又は設備管理業務にて選任した電気主任技術者とし、安全衛生特別教育を受講した者とする。

（３）　非常用発電設備の保守点検は、非常用発電機専門技術者の資格を有する者とする。

（４）　各種設備保守点検業務を実施する場合は、関連法令を遵守し、また、製造メーカーが保守要項を定めている場合には、その保守要項に従って実施すること。

■　清掃業務

１　清掃対象物件

清掃の対象となる物件は、次のとおりとする。

（１）　海老名市中新田383番地の１　海老名市立わかば会館

（２）　海老名市社家二丁目16番25号 海老名市立障がい者地域活動センター

２　清掃範囲

清掃の範囲は、会館、センター内とする。

３　乙が具備すべき要件

乙は、次に掲げる要件を具備するものとする。

（１）　建築物における衛生的環境の確保に関する法律第12条の２第１項に規定している建築物環境衛生総合管理業の事業を神奈川県に登録していること。

（２）　財団法人医療関連サービス振興会が定める医療関連サービスマークの認定要件（院内清掃）に適合し、認定を受けていること。

４　基本的事項

（１）　この仕様書は、清掃業務の大要を示すものであって、軽微な部分又は記載なき事項があっても、美観的、衛生的に必要な作業及び建物管理上、健康管理上必要な作業は、委託料の範囲内において実施するものとする。

（２）　乙は、作業の開始に先立ち、清掃業務実施計画書及び従事者の名簿を甲に提出する。また、従事者に変更があるときは、遅滞なく届出をする。

（３）　従事者の名簿には、住所、氏名及び顔写真を添付する。様式については、特に指定はしないが、代表者の承認を得るものとする。

（４）　乙は、従事者の身元、風紀及び衛生規律の維持等に関し、その責任を負い、甲が適当でないと認めた従事者については、この作業に当たらせてはならない。

（５）　乙及び従事者は、職務上知り得た秘密をいかなる者にも漏らしてはならない。なお、契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

（６）　作業に必要な資機材~~機器~~及び薬剤等消耗品は、乙が調達する。ただし、水道水及び電気は、甲が提供する。

（７）　乙は、実施月の作業内容の報告を翌月10日までに甲に提出する。また、後述する定期Ａ作業・定期Ｂ作業・年２回作業の実施に際しては、事前に甲と日程調整をする。

（８）　作業用の資機材~~機器~~若しくは薬剤の保管場所及び作業員の詰所は、甲が指定した場所を利用する。

（９）　作業の原則及び共通事項

ア　乙は、清掃作業に携わる者の中から責任者を定め、作業に対する責任を明確にする。

イ　作業の実施にあたっては、常に火災、盗難、事故等のないようにする。

ウ　従事者は、一定の作業衣を着用し、左胸部に名札をつけ、身分を明らかにする。

エ　作業の実施に当たり鍵を使用するときは、甲の承認を得て使用し、使用後は速やかに返却する。

オ　作業の実施により移動した物品は、元の位置に戻す。

カ　作業は、業界において一般に行われている方法及び内容で実施する。ただし、この仕様書で明記されているとき、又は見積書等で事前に提示した方法及び内容があるときは、その方法及び内容を補完して実施する。

キ　作業に必要な資機材及び薬剤は、作業内容及び建築材料に適したものを使用することとし、乙において調達する。ただし、水道水及び電気は甲が提供する。

ク　作業用の資機材及び薬剤は、作業実施日に搬入及び搬出すること。

ケ　作業中に生じた事故は、乙の責めに帰しその処理については、甲の指示に従うものとする。

コ　作業中に遺失物を発見したときは、速やかに甲に届け出る。

サ　上記事項のほか問題が生じたときは、その都度、甲の指示を受ける。

5　清掃の区分

清掃の区分及び作業を行う時間は次のとおりとする。

	実施頻度	作業時間
定期A作業	２ヶ月に１回（奇数月）	休日　午前８時30分から午後５時まで
定期B作業	年３回（６・10・２月）	休日　午前８時30分から午後５時まで
年２回作業	屋上清掃・カーペット洗浄・その他（６月、12月）	休日　午前８時30分から午後５時まで ※業務日を除く（日曜日可）

6　清掃作業の方法等

（1）　定期A作業

ビニール系の床の洗浄及びワックス塗布を２ヶ月に１回実施する。

なお、年１回はワックスの床面剥離を行うものとする。

（2）　定期B作業

窓、出入口等のガラス（周辺部分を含む）の清掃を年３回実施する。

（3）　屋上清掃〔会館〕

洗浄し、排水口のごみ埃を除去する。

（4）　カーペット洗浄

掃除機等により塵・埃等を除去し、専用のブラシ・洗剤を使用してシャンピング掛けをする。その後、温水スチームにて洗浄し、起毛ブラシにて加工処理する。

（5）　空調機フィルター清掃（年６回）

フィルターを取り外し、付着したほこり、汚れ等を除去する。

掃除機による吸引、ブラッシング、水洗い等の適切な方法で清掃する。

（6）　フロン簡易点検（年４回）

目視による外観確認、運転状況の確認する、異常発見時は状況を報告する。

（7）　害虫駆除(生息調査)（年６回）

施設内にインジケーターを設置し害虫の生息状況を調査し、発生原因および侵入経路を把握するとともに、適切な防除措置を講じ、衛生環境を維持すること。

（8） 厨房レンジフード清掃（年２回）

厨房内に設置されているレンジフード内外面に付着した油脂、ほこり等を専用洗浄剤及び適切な器具を使用して除去する。

7　床清掃用モップの配置及び衛生管理

乙は、床清掃用モップを少なくとも1本備え付けるものとする。

また、当該モップについては、定期的に洗浄を実施し、常に衛生的かつ清潔な状態を保持しなければならない。

8　実施方法等

（1） 建築物における衛生的環境の確保に関する法律及び財団法人医療関連サービス振興会が定める院内清掃業務に関する基準に準拠し、実施すること。

（2） 清掃作業監督者を配置すること。

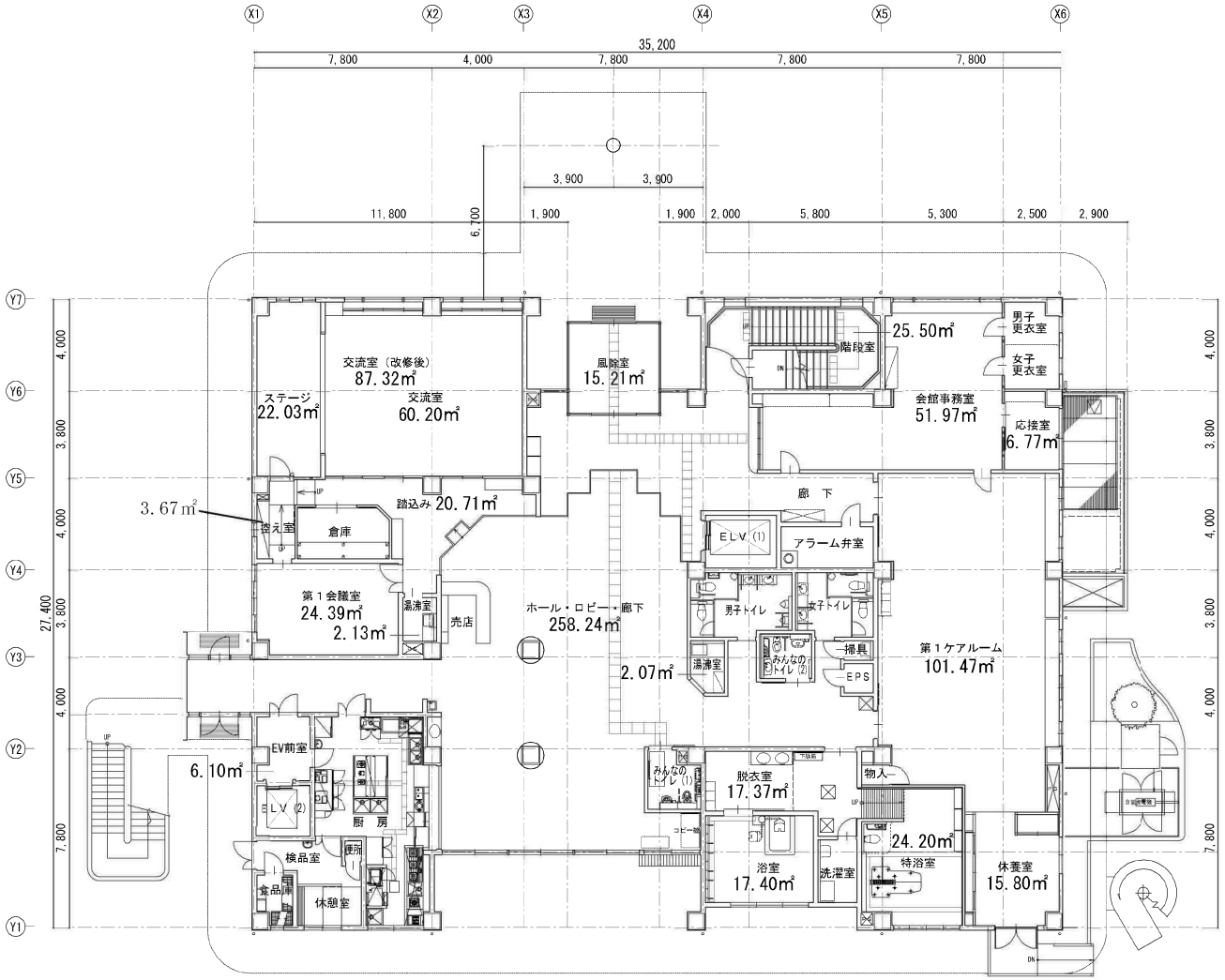
（3） ビルクリーニング技能士１級の資格を有した業務責任者を配置すること。なお、清掃作業監督者と兼ねることができるものとする。

（4） 定期Ａ作業、定期Ｂ作業、年２回作業（屋上洗浄、カーペット洗浄）を実施する場合には、清掃作業監督者もしくは、業務責任者が立ち会うこと。

9　床面積及び材質

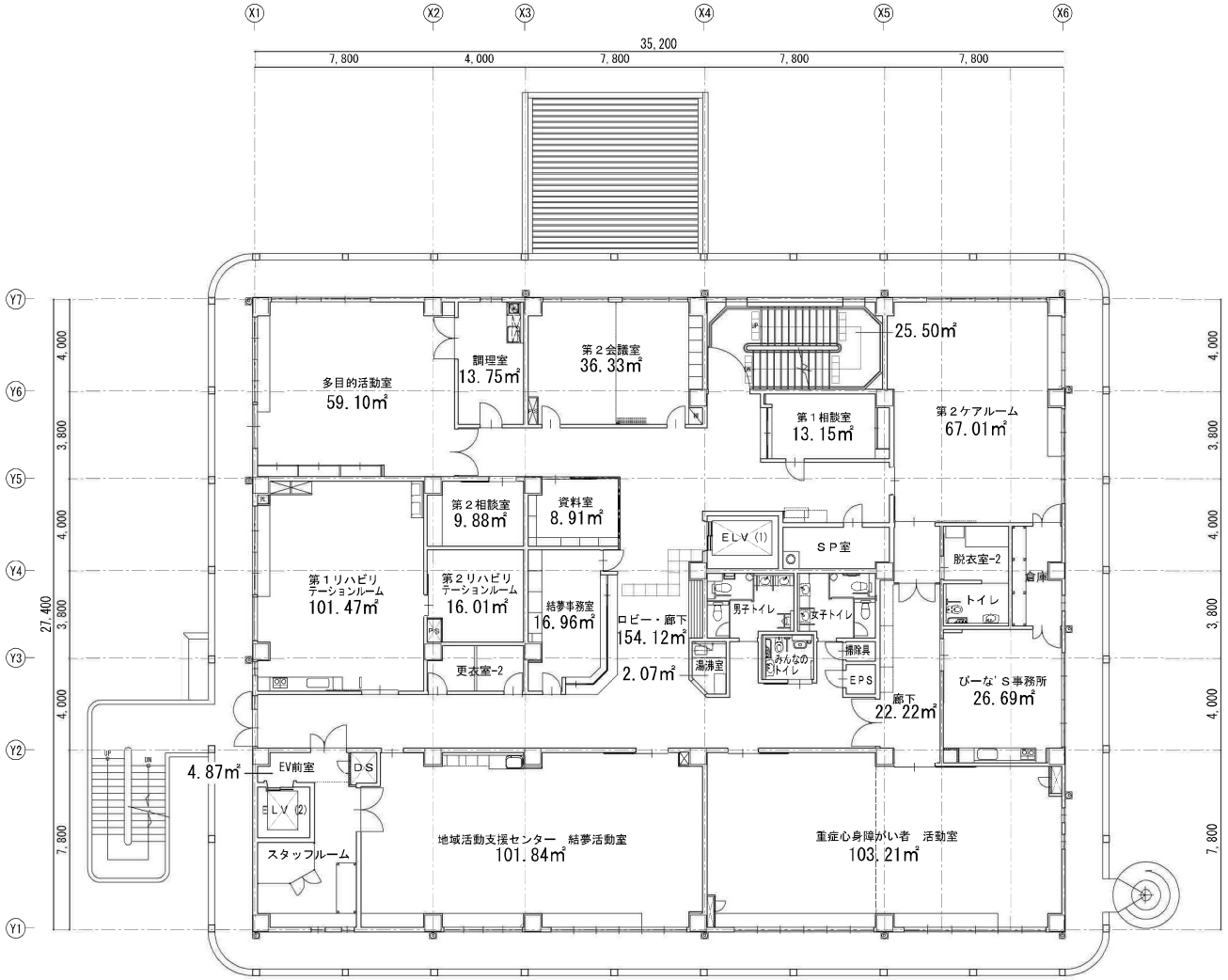
別添「仕上げ表等」参照

海老名市立わかば会館



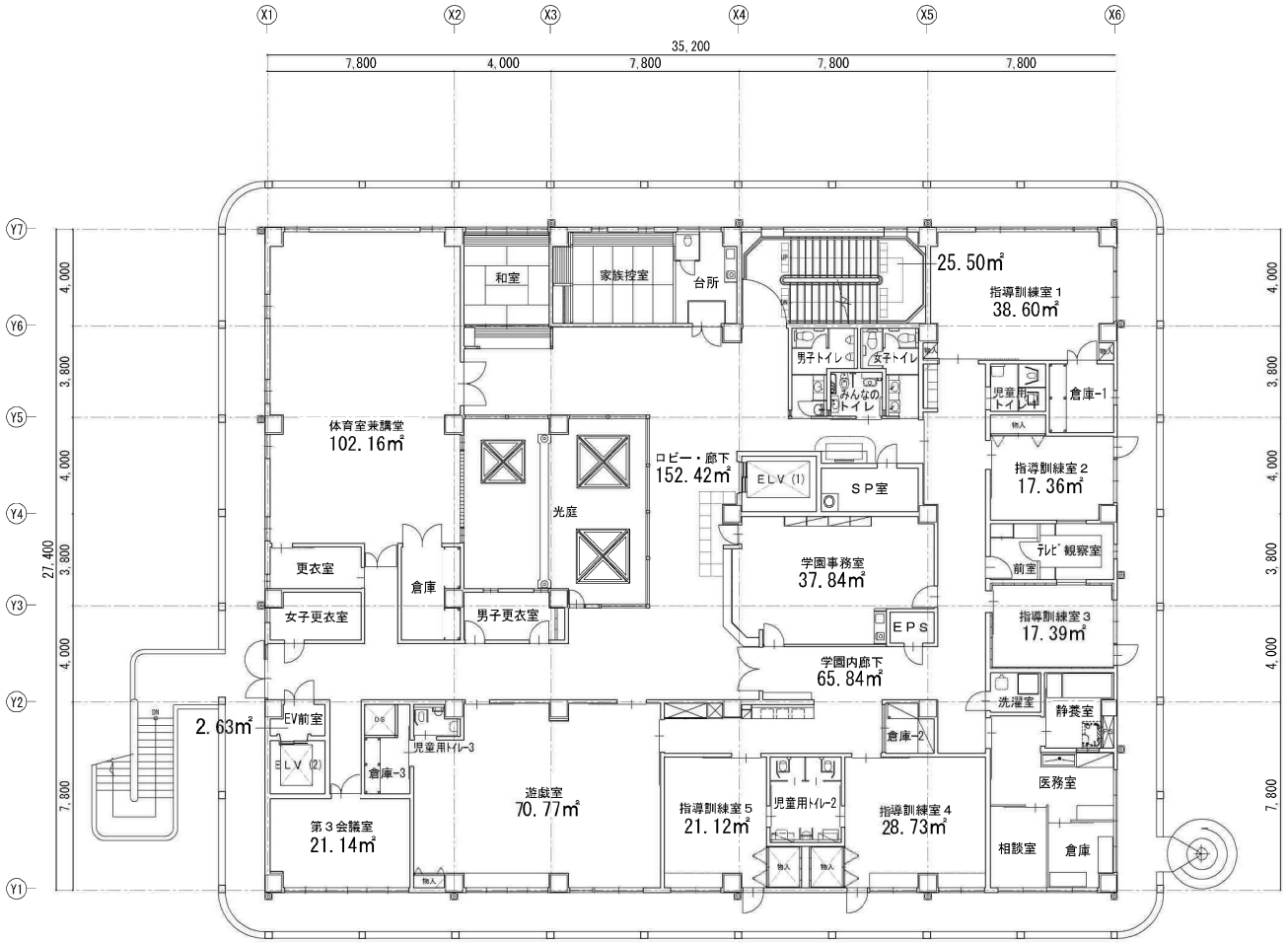
1階 改修前平面図

海老名市立わかば会館



2階 改修前平面図

海老名市立わかば会館



3階 改修後平面図

海老名市立わかば会館

内部仕上表

階数	室名	区分	床	巾木		壁	天井		備考
1階	風除室	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ目地切 ｺｲﾙ状ﾏｯﾄ敷(ｿｰﾏｯﾄﾞﾏｯﾄ) ㋐14、一部ｺﾞﾑﾀｲﾙ貼 500角	―――	―	―――	LGS下地、石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.0 捨貼 岩綿吸音板 ㋐ 15.0 (ﾎﾞｰﾀﾞｰ)、岩綿吸音板 ㋐ 9.0 (平)	2,700	
		改修後	既存のまま	―――	―	―――	既存のまま	―	
	ホール・ロビー・廊下	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 3.5 ：撤去 一部磁器質ﾀｲﾙ貼 100角・400角	ｿﾌﾄ巾木：撤去 硬質塩ビ樹脂ｷｬｯﾌﾟﾚｰﾄ：撤去	100 200	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 吹付ﾀｲﾙ (ゆず肌) 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.5：撤去 (冷水器撤去壁面)	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0 一部 LGS下地、石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0：撤去 (ELV前)	2,700	売店ｶｳﾝﾀｰ (1か所) ・売店棚 (1か所) ：撤去、壁画 (人工大理石 ㋐ 20.0)：撤去 冷水器 (1か所) ：撤去、手洗い流し台：撤去、案内板：撤去、棚脚手摺笠木：撤去 壁点検口 (1か所) ：撤去、SUS床見切り：撤去、ﾊｰﾄﾞﾋﾞﾙﾊﾞｰｶｰ：撤去、ﾋﾟｸﾄｲﾝ (印刷・TEL・水飲み) ：撤去
		改修後	発泡複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 2.0：新設、下地調整 一部磁器質ﾀｲﾙ貼 100角・400角：環境保護薬品手洗い	防汚抗菌ﾜｲﾄﾞ巾木：新設	300	複層塗材 E ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ塗装：新設、複層塗材 E (ゆず肌)：新設 (壁面撤去面) 複合断熱板 ㋐ 26.0貼、ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ ㋐10 下地：新設 (壁面撤去面) 構造用合板 ㋐ 12.0、ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 ㋐ 6.0、ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板 ㋐ 3.0：新設 (冷水器撤去壁面)	既存のまま 一部 LGS下地、石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0：新設 (ELV前)	―	壁点検口 (1か所) ：新設、天井点検口 (3か所) ：新設、SUS床見切り：新設、ﾊｰﾄﾞﾋﾞﾙﾊﾞｰｶｰ：新設、案内板：新設、棚脚手摺笠木：新設、棚脚手摺一式：新設 LGS下地、構造用合板 ㋐12.0、ﾒﾗﾐﾝ化粧板 ㋐ 3.0、ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ ㋐ 20(ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板)：新設 (ﾗｲﾆﾝｸﾞ)、手洗い流し台：新設 (機械設備工事) LGS下地、構造用合板 ㋐ 12.0、ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 ㋐ 6.0、ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板 ㋐ 3.0：新設 (ELV延り壁)
	みんなのトイレ(2)	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ 防汚性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 2.0 (ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ)	ｿﾌﾄ巾木	100	強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.5 二重貼、LGS下地 抗菌不燃化粧板貼 ㋐ 3.0	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,400	
		改修後	既存のまま	既存のまま	―	既存のまま	既存のまま	―	
	会館事務室	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 3.5	ｿﾌﾄ巾木	100	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 GL工法 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10 (外壁面) 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 LGS下地 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填 (間仕切壁面) ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,700	
		改修後	既存のまま	既存のまま	―	既存のまま	既存のまま	―	
	更衣室	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 3.5	ｿﾌﾄ巾木	100	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 GL工法 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10 (外壁面) 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 LGS下地 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填 (間仕切壁面) ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,400	
		改修後	既存のまま	既存のまま	―	既存のまま	既存のまま	―	
	応接室	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 3.5	ｿﾌﾄ巾木	100	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 GL工法 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10 (外壁面) 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 LGS下地 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填 (間仕切壁面) ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,400	
		改修後	既存のまま	既存のまま	―	既存のまま	既存のまま	―	
	第1ケアルーム	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 3.5	ﾀｲﾙ集成材 ㋐ 18 UC塗装	300	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 GL工法 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10 (外壁面) 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 LGS下地 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填 (間仕切壁面) ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 (手洗い流し台廻り)：撤去	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,700	横型ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ：撤去、室名札 (2か所) ：撤去 手洗い流し台：撤去、姿見 (2枚) ：撤去、全身姿 (W2 000×H1,700) ：撤去 (木製4方枠共) 耐水合板 ㋐ 12.0、ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 ㋐ 3.0、ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ ㋐ 20 (ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板)：仕上張去 (ﾗｲﾆﾝｸﾞ)
		改修後	既存のまま	既存のまま	―	既存のまま ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼 (手洗い流し台廻り) ：新設	既存のまま	―	横型ﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ：新設、室名札 (2か所) ：新設 ｼｽﾃﾑｷｯﾁﾝ W1,500：新設、姿見 (2枚) ：新設、手洗い流し台：新設 (機械設備工事) LGS下地 (W1,600 新設) 、耐水合板 ㋐ 12.0、ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 ㋐ 3.0、ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ ㋐ 20 (ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板) ：新設 (ﾗｲﾆﾝｸﾞ)
	休養室	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 3.5	ｿﾌﾄ巾木	100	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 GL工法 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10 (外壁面) 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 LGS下地 ｸﾞﾗｽｳｰﾙ充填 (間仕切壁面) ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 和風化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,700	
		改修後	既存のまま	既存のまま	―	既存のまま	既存のまま	―	
	脱衣室	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ敷 ㋐ 6.5：撤去	ｿﾌﾄ巾木：撤去 硬質塩ビ樹脂ｷｬｯﾌﾟﾚｰﾄ：撤去	100 200	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 吹付ﾀｲﾙ (ゆず肌) 抗菌不燃化粧板貼 ㋐ 3.0	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,400	ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝｶｰﾃﾝ：撤去、室名札：撤去 手洗い流し台：撤去
		改修後	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ敷 ㋐ 6.5：新設、下地調整	防汚抗菌ﾜｲﾄﾞ巾木：新設	300	複層塗材 E ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ塗装：新設 既存のまま (不燃化粧板面)	既存のまま	―	ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝｶｰﾃﾝ：新設、室名札：新設 LGS下地、構造用合板 ㋐12.0、ﾒﾗﾐﾝ化粧板 ㋐ 3.0、ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ ㋐ 20 (ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板)：新設 (ﾗｲﾆﾝｸﾞ) 手洗い流し台：新設 (機械設備工事)
	特浴室 (1) (特浴室)	改修前	ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ FRP防水仕上 (ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕上) 長尺塩ﾋﾞﾆﾙｼｰﾄ貼 ㋐ 2.0：撤去	ｿﾌﾄ巾木：撤去 FRP防水仕上 H900	60 900	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ、複層塗材 E LGS下地、石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.5 + ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 ㋐ 5.0、複層塗材 E (上部) ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ下地 ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ、H1,000 (下部)	LGS下地 ｱﾙﾐ製ﾊﾟﾈﾙｼﾞ：取外し (一部)	2,550	大便器 (1か所) ・手洗い器 (1か所) ：撤去、L型手摺 (1か所) ：撤去、間仕切りｶｰﾃﾝﾚｰﾙ：撤去 LGS下地、構造用合板 ㋐12.0、ﾒﾗﾐﾝ化粧板 ㋐ 3.0、ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ ㋐ 20 (ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板)：撤去 (ﾗｲﾆﾝｸﾞ) ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ ㋐ 100 、FRP防水・ﾓﾙﾀﾙ下地、ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ ㋐ 20 (ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板)：撤去 (ﾗｲﾆﾝｸﾞ)
		改修後	FRP防水：新設 発泡複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ ㋐ 2.8：新設、下地調整 複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 2.0 (防滑 ｽﾛｰﾌﾟ部) ：新設、下地調整	防汚抗菌ﾜｲﾄﾞ巾木：新設 FRP防水仕上 H300：新設	300	抗菌ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板 (ﾊﾞｽﾙｰﾑ用) ㋐ 3.0：新設 (ONﾀｲﾙ工法) LGS下地、構造非合板 ㋐12.0、ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 ㋐ 6.0：下地新設 (ﾌｶｼ壁) L抗菌ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板 (ﾊﾞｽﾙｰﾑ用) ㋐ 3.0：新設 (ﾌｶｼ壁)	既存のまま ｱﾙﾐ製ﾊﾟﾈﾙｼﾞ：再取付 (一部)	―	ｽﾄﾚｯﾁｬｰ式ｼｬﾜｰ入浴装置 (1台) ：新設 (別途工事) 、電動式昇降ｽﾄﾚｯﾁｬｰ (1台) ：新設 (別途工事) 汚物流し (1か所) ：新設 (機械設備工事)
	特浴室 (2) (浴室)	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ FRP防水仕上 (ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ仕上)	FRP防水仕上 H300	300	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ、陶器質ﾀｲﾙ貼 100角 LGS下地、構造用合板 ㋐12.0、不燃化粧板貼 ㋐ 3.0 (浴室ﾊﾟﾈﾙ：仕上張去 (ﾌｶｼ壁・ﾗｲﾆﾝｸﾞ上部) LGS下地、構造用合板 ㋐12.0、ﾌｧｽﾄﾊﾞｰﾄﾞ ㋐ 7.5・ﾓﾙﾀﾙ下地：仕上張去 (ﾌｶｼ壁・ﾗｲﾆﾝｸﾞ下部)	LGS下地 ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ：取外し (一部)	2,400 ～ 2,700	入浴介護ﾘﾌﾄ (1か所) ：撤去、浴槽立上りRC壁 H300：撤去 LGS下地 (W750) ：撤去 (ﾗｲﾆﾝｸﾞ)
		改修後	ｺﾝｸﾘｰﾄ ㋐ 100、ｳｲﾔｰﾒｯｼｭ φ6-100×10、ｽﾀｲﾛﾌｫｰﾑ ㋐ 100 ：新設 (浴槽部) FRP防水：新設 発泡複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ ㋐ 2.8：新設、下地調整	防汚抗菌ﾜｲﾄﾞ巾木：新設 FRP防水仕上 H300：新設	300	抗菌ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板 (ﾊﾞｽﾙｰﾑ用) ㋐ 3.0：新設 (ONﾀｲﾙ工法) 構造用合板 ㋐12.0、ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 ㋐ 6.0：下地調整 (ﾌｶｼ壁・ﾗｲﾆﾝｸﾞ) 抗菌ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板 (ﾊﾞｽﾙｰﾑ用) ㋐ 3.0：新設 (ﾌｶｼ壁・ﾗｲﾆﾝｸﾞ)	既存のまま ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ：再取付 (一部)	―	ﾘﾌﾗｲﾝｲﾝｸﾞ式ｼｬﾜｰ入浴装置 (1台) ：新設 (別途工事) 、ﾘﾌﾗｲﾆﾝｸﾞﾁｪｱｰ (1台) ：新設 (別途工事) 浴室鏡 (2枚) ：新設、I-80型手摺 (4箇所) ｽﾗｲﾄﾞｼｬﾜｰﾊﾝﾎﾞｰ (2箇所)：新設 汚物流し (1か所) ：新設 (機械設備工事)
	洗濯室	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 6.5	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	100	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 吹付ﾀｲﾙ (ゆず肌)	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,400	
		改修後	既存のまま	既存のまま	―	既存のまま	既存のまま	―	
	交流室 (ステージ・交流室)	改修前	木床組下地：撤去 (ｽﾃｰｼﾞ・交流室) 有孔ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 12.0、ﾀｯﾀﾐ敷 ㋐ 60 ：撤去 (交流室) ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 15.0、ﾌﾗﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ貼 ㋐ 15.0 UC塗装：撤去 (ｽﾃｰｼﾞ)	たたみ寄せ：撤去 ﾀｲ集成材 ㋐ 18.0 UC塗装：撤去	― 300	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 GL工法 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10 (外壁面) 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 LGS下地：撤去 (袖壁) ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼：撤去	LGS下地：撤去 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.0 杉柾縁付 (小口、目地共貼)：撤去 (交流室) 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5：撤去 (ｽﾃｰｼﾞ)	2,650 ～ 2,990	天井廻り縁・付長押・付鴨居・鴨居・敷居・コーナー保護材：撤去 窓下棚：撤去 背面幕・緞帳・カーテンレール：撤去、ロールスクリーン：撤去、室名札：撤去
		改修後	乾式二重床 (ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 20) ：新設 ｱﾝﾀﾞｰﾚｲﾔｰﾄ ㋐ 6.0：新設 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：新設	防汚抗菌ﾜｲﾄﾞ巾木：新設	300	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼：新設、下地調整 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.5 GL工法：新設 (袖壁・棚撤去部)	LGS下地：新設 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0：新設	2,650	塩ビ製廻り縁・敷居：新設、天井点検口 (5か所) ：新設 携帯用スロープ 長さ1,500cm (アルミ2折式) ：新設、室名札：新設 GS下地、石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.5、石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼：新設 (ﾌｶｼ壁)
	踏込み	改修前	木床組下地 ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 15.0、檜縁甲板 ㋐15.0 ﾜｯｸｽ拭	ｽﾉｰﾙｰｽ ㋐ 18.0 ﾜｯｸｽ拭：撤去	300	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 LGS下地 (間仕切壁面) ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼：撤去	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,650	木製ｺｰﾅｰ保護材：撤去
		改修後	既存部ｻﾝﾀﾞｰ掛け3回 ｳﾚﾀﾝ塗装 (床見切材共)	防汚抗菌ﾜｲﾄﾞ巾木：新設	300	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼：新設、下地調整	既存のまま	―	
	控え室	改修前	木床組下地 ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 15.0、ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 12.0 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5	ｽﾉｰﾙｰｽ ㋐ 18.0 ﾜｯｸｽ拭	300	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 LGS下地 (間仕切壁面) ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,300 ～ 2,450	
		改修後	既存のまま	既存のまま	―	既存のまま	既存のまま	―	

海老名市立わかば会館

内部仕上表

階数	室名	区分	床	巾木		壁	天井		備考
1階	倉庫	改修前	木床組下地 ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 15.0、ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 12.0 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 ㋐ 2.0	ﾗﾜﾝ ㋐ 18.0 OS塗装	300	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ貼 ㋐ 12.0、ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 ㋐ 8.0 目透貼 VP塗装	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,650	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	防災品管理用倉庫（湯沸室）	改修前	木床組下地 ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 15.0、ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 12.0 ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 2.8：撤去	ｿﾌﾄ巾木：撤去	100	ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 ㋐ 5.0 目透貼 VP塗装	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,400	ﾋﾞｸﾄｻｲﾝ（湯沸）：撤去 ｼｽﾃﾑｷｯﾁﾝ・吊戸棚：撤去
		改修後	複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 2.0：新設、下地調整	ｿﾌﾄ巾木：新設	100	EP-G塗装、下地調整	既存のまま	—	
	第１会議室	改修前	木床組下地 ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 15.0、ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 12.0 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5	ｿﾌﾄ巾木	100	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 GL工法 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10（外壁面） ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,650	室名札：撤去
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	室名札：新設
	厨房	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ ㋐ 150 ｴﾎﾟｷｼﾝｽﾘｯﾌﾟ塗 ㋐ 2.0	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	100	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 複層塗材RE塗	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,700	SUS排水溝蓋 厨房機器
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	厨房 検品室	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ ㋐ 3.5	ｿﾌﾄ巾木	100	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 複層塗材RE塗	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,500	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	厨房 休憩室	改修前	木床組下地 有孔ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 12.0、ﾀﾀﾐ敷 ㋐ 60 一部檜縁甲板 ㋐ 15.0	たたみ寄せ	—	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 GL工法 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10（外壁面） 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 木軸下地（間仕切壁面） ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 和風化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,500	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	厨房 食品庫	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ ｴﾎﾟｷｼﾝｽﾘｯﾌﾟ塗 ㋐ 2.0	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	100	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し ﾌｯ素樹脂吹付	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,600	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	厨房 便所	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 ㋐ 2.5	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	100	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 磁器質ﾀｲﾙ貼 100角	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,400	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	EV 前室	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 ㋐ 2.0：撤去	ｿﾌﾄ巾木：撤去	100	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 吹付ﾀｲﾙ（ゆず肌）	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,400	
		改修後	複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 2.0 ：幅木、下地調整	ｿﾌﾄ巾木：新設	100	既存のまま	既存のまま	—	
2階	ロビー・廊下	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：撤去	ｿﾌﾄ巾木：撤去 硬質塩ビ樹脂ｷｬｯﾌﾟﾚｰﾄ：撤去	100 200	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 吹付ﾀｲﾙ（ゆず肌）	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0 一部 LGS下地、石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0：撤去（ELV前）	2,500	壁画（人工大理石 ㋐ 20.0）：撤去 案内板：撤去、施設看板：撤去、樹脂手摺笠木：撤去 ﾊｰﾄﾋﾞﾙﾏｰｶｰ：撤去
		改修後	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：新設、下地調整	防汚抗菌ﾜｲﾄﾞ巾木：新設	300	複層塗材Ｅ ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ塗装：新設、複層塗材Ｅ(ゆず肌)：新設（壁面撤去面） 複合断熱板 ㋐ 26.0貼、ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ㋐10 下地：新設（壁面撤去面）	既存のまま 一部 LGS下地、石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0：新設（ELV前）	—	案内板：新設、施設看板：新設、樹脂手摺笠木：新設 、樹脂手摺一式：新設 ﾊｰﾄﾋﾞﾙﾏｰｶｰ：新設、天井点検口（3か所）：新設 LGS下地、構造用合板 ㋐ 12.0、ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 ㋐ 6.0、ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板 ㋐ 3.0：新設（ELV廻り壁）
	資料室	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：撤去	ｿﾌﾄ巾木：撤去 硬質塩ビ樹脂ｷｬｯﾌﾟﾚｰﾄ：撤去	100 200	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 吹付ﾀｲﾙ（ゆず肌）	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,500	室名札：撤去
		改修後	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：新設、下地調整	防汚抗菌ﾜｲﾄﾞ巾木：新設	300	既存のまま	既存のまま	—	室名札：新設
	結夢事務室	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5	ｿﾌﾄ巾木	100	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 GL工法 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,500	室名札(2か所) ：撤去
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	室名札(2か所) ：新設
	第１相談室	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：撤去	ｿﾌﾄ巾木：撤去	100	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 GL工法 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,500	室名札：撤去
		改修後	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：新設、下地調整	ｿﾌﾄ巾木：新設	100	既存のまま	既存のまま	—	室名札：新設
	第２相談室	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：撤去	ﾀﾓ集成材 ㋐ 18.0 UC塗装：撤去	300	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 GL工法 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,500	室名札：撤去
		改修後	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：新設、下地調整	防汚抗菌ﾜｲﾄﾞ巾木：新設	300	既存のまま	既存のまま	—	室名札：新設
	第２会議室	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：撤去	ｿﾌﾄ巾木：撤去	100	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 GL工法 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10（外壁面） ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,500	室名札(2か所) ：撤去
		改修後	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：新設、下地調整	ｿﾌﾄ巾木：新設	100	既存のまま	既存のまま	—	室名札(2か所) ：新設

海老名市立わかば会館

内部仕上表

階数	室名	区分	床	巾木		壁	天井		備考
2階	調理室	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 3.5	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	100	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 吹付ﾀｲﾙ（ゆず肌）	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,400	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	多目的活動室	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 2.0：撤去	ｿﾌﾄ巾木：撤去	100	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 吹付ﾀｲﾙ（ゆず肌）	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,700	室名札：撤去
		改修後	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：新敷、下地調整	ｿﾌﾄ巾木：新敷	100	既存のまま	既存のまま	—	室名札：新敷
	第１リハビリテーションルーム	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 6.5：撤去	ﾀﾓ集成材 ㋐ 18.0 UC塗装：撤去	300	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 GL工法 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10（外壁面） ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,700	室名札：撤去 木製歩行練習用階段：撤去 平行棒：撤去
		改修後	発泡複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 2.0：新敷、下地調整	防汚抗菌ﾜｲﾄﾞ巾木：新敷	300	既存のまま	既存のまま	—	室名札：新敷
	第２リハビリテーションルーム	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 6.5：撤去	ｿﾌﾄ巾木	100	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.5 GL工法 強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 15.0 二重貼 LGS下地 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,400	室名札：撤去
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	室名札：新敷
	更衣室-2	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5	ｿﾌﾄ巾木	100	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,400	室名札（2か所）：撤去
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	室名札（2か所）：新敷
	地域活動支援センター結夢活動室	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 6.5：撤去	ｽﾌﾟﾙｰｽ ㋐ 18.0 SOP塗装：撤去	300	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 GL工法 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10（外壁面） ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼：撤去	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,600	室名札（2か所）：撤去
		改修後	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：新敷、下地調整	防汚抗菌ﾜｲﾄﾞ巾木：新敷	300	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼：新敷、下地調整	既存のまま	—	室名札（2か所）：新敷、樹脂製ﾈｰﾑﾌﾟﾚｰﾄ：新敷 下足入：新敷、ｶｰﾃﾝBOX：EP-G塗装
	重症心身障がい者活動室	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 6.5：撤去	ﾀﾓ集成材 ㋐ 18.0 UC塗装：撤去	300	ﾗﾜﾝ合板下貼 ㋐ 5.0、ｼﾅ合板目透し貼 ㋐ 5.5 SOP塗 木軸下地 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10（外壁面） EP-G塗装	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,700	室名札（2か所）：撤去
		改修後	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：新敷、下地調整	ｼﾅ合板下貼 ㋐ 5.5：新敷 防汚抗菌ﾜｲﾄﾞ巾木：新敷	300	EP-G塗装、下地調整	既存のまま	—	室名札（2か所）：新敷、樹脂製ﾈｰﾑﾌﾟﾚｰﾄ：新敷 下足入：新敷、ｶｰﾃﾝBOX：EP-G塗装
	びーな S事務所	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 6.5	ﾀﾓ集成材 ㋐ 18.0 UC塗装	300	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 GL工法 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10（外壁面） ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,700	室名札：撤去
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	室名札：新敷
	倉庫	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 ㋐ 6.5	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	100	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し VP塗装	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,400	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	トイレ	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｾｰﾌﾃｨﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ ㋐ 2.0	ｿﾌﾄ巾木	100	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 吹付ﾀｲﾙ（ゆず肌）	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,400	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	脱衣室	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｾｰﾌﾃｨﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ ㋐ 2.0	ｿﾌﾄ巾木	100	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 吹付ﾀｲﾙ（ゆず肌）	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,400	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	LGS下地、石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐12.5、ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板 ㋐ 3.0：新敷（ELV廻り壁）
	第2ケアルーム	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 ㋐ 6.5：撤去	ﾀﾓ集成材 ㋐ 18.0 UC塗装：撤去	300	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.0 GL工法 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10（外壁面） ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,700	室名札：撤去
		改修後	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：新敷、下地調整	防汚抗菌ﾜｲﾄﾞ巾木：新敷	300	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼：新敷、下地調整	既存のまま	—	室名札：新敷 樹脂製ﾈｰﾑﾌﾟﾚｰﾄ：新敷 ｶｰﾃﾝBOX：EP-G塗装
	EV 前室 スタッフルーム	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：撤去（EV 前室）	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し、VP塗装	100	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し VP塗装	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5 一部 LGS下地、化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5：撤去	2,400	
		改修後	既存のまま ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：新敷（EV 前室）	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま 一部 LGS下地、化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5：新敷	—	LGS下地、強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐12.5+ ㋐12.5、EP-G塗装（周面）：新敷（耐火間仕切壁）
3階	ロビー・廊下	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：撤去	ｿﾌﾄ巾木：撤去 硬質塩ビ樹脂ｷｬｯﾌﾟﾚｰﾄ：撤去	100 200	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 吹付ﾀｲﾙ（ゆず肌）	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0 一部 LGS下地、石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0：撤去（ELV前）	2,500	壁面（人工大理石 ㋐ 20.0）：撤去 案内板：撤去、施設看板：撤去、樹脂手摺笠木：撤去 ﾊｰﾄﾋﾞﾙﾏｰｶｰ：撤去
		改修後	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：新敷、下地調整	防汚抗菌ﾜｲﾄﾞ巾木：新敷	300	複層塗材 E ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ塗装：新敷、複層塗材 E（ゆず肌）：新敷（壁面撤去面） 複合断熱板 ㋐ 26.0貼、ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ㋐10 下地：新敷（壁面撤去面）	既存のまま 一部 LGS下地、石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0：新敷（ELV前）	—	案内板：新敷、施設看板：新敷、樹脂手摺笠木：新敷、樹脂手摺一式：新敷 ﾊｰﾄﾋﾞﾙﾏｰｶｰ：新敷、天井点検口（3か所）：新敷、ﾛｰﾙﾌﾞﾗｲﾝﾄﾞ：新敷 LGS下地、構造用合板 ㋐ 12.0、ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 ㋐ 6.0、ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板 ㋐ 3.0：新敷（ELV廻り壁）
	学園事務室	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 6.5	ｿﾌﾄ巾木	100	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.5 GL工法 強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 15.0 二重貼 LGS下地 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,500	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	

海老名市立わかば会館

内部仕上表

階数	室名	区分	床	巾木		壁	天井		備考
3階	指導訓練室１	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 6.5：撤去 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ置敷 ㋐ 3.5：撤去	ｽﾀﾞｰﾙｽ ㋐ 18.0 SOP塗：撤去	100	ﾗﾜﾝ合板目透し貼 ㋐ 5.5 木軸下地 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10（外壁面） EP-G塗装	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,500	室名札：撤去
		改修後	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：新設、下地調整 ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 5.5：新設、下地調整（物入）	ｼﾅ合板下貼 ㋐ 5.5：新設 防汚抗菌ｳｲﾄﾞ巾木：新設	300	EP-G塗装、下地調整 ｼﾅ合板貼 ㋐ 5.5：新設、下地調整（物入）	既存のまま ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 4.0：新設、下地調整（物入）	—	室名札：新設 樹脂製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ：新設 ｶｰﾃﾝBOX：EP-G塗装
	倉庫１	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 ㋐ 2.0	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し、VP塗装	100	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し VP塗装	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,400	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	児童用トイレ１	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 防汚性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ ㋐ 2.0（ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ）	—	—	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 陶磁器ﾀｲﾙ貼 100角	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,400	
		改修後	既存のまま	—	—	既存のまま	既存のまま	—	
	指導訓練室2	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 6.5：撤去 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ置敷 ㋐ 3.5：撤去	ｿﾌﾄ巾木：撤去	100	防音石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 18.3 GL工法 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼：撤去	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,500	室名札：撤去 上段棚・中段棚・下段棚：撤去（物入）
		改修後	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：新設、下地調整 ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 5.5：新設、下地調整（物入）	防汚抗菌ｳｲﾄﾞ巾木：新設	300	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼：新設 ｼﾅ合板貼 ㋐ 5.5：新設、下地調整（物入）	既存のまま ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 4.0：新設、下地調整（物入）	—	室名札：新設、樹脂製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ：新設 ｱﾙﾐ建具：開閉調整 ｶｰﾃﾝBOX：EP-G塗装
	テレビ観察室	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 6.5	ｽﾀﾞｰﾙｽ ㋐ 18.0 SOP塗装	100	有孔ﾗﾜﾝ合板 ㋐ 5.5 寒冷沙張 木軸下地 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10（外壁面） EP-G塗装	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,400	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	テレビ観察室前室	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 6.5	ｽﾀﾞｰﾙｽ ㋐ 18.0 SOP塗装	100	有孔ﾗﾜﾝ合板 ㋐ 5.5 寒冷沙張 木軸下地 EP-G塗装	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,400	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	指導訓練室３	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 6.5：撤去 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ置敷 ㋐ 3.5：撤去	ｿﾌﾄ巾木：撤去	100	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5 LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5 ：撤去（廊下面） ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼：撤去	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,500	室名札：撤去
		改修後	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：新設、下地調整	防汚抗菌ｳｲﾄﾞ巾木：新設	300	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5 ：新設（廊下面） ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼：新設	既存のまま	—	室名札：新設、樹脂製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ：新設 ｱﾙﾐ建具：開閉調整 ｶｰﾃﾝBOX：EP-G塗装
	医務室・倉庫相談室	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 6.5	ｿﾌﾄ巾木	100	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.5 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,500	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	静養室	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 6.5	ｿﾌﾄ巾木	100	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 吹付ﾀｲﾙ（ゆず肌）	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,400	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	洗濯室	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 防汚性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ ㋐ 2.0（ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ）	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	100	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 陶磁器ﾀｲﾙ貼 100角	LGS下地 ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 ㋐ 5.0 目透貼 VP塗装	2,400	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	指導訓練室４	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 6.5：撤去 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ置敷 ㋐ 3.5：撤去	ｽﾀﾞｰﾙｽ ㋐ 18.0 SOP塗装：撤去	100	ﾗﾜﾝ合板目透し貼 ㋐ 5.5 木軸下地 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10（外壁面） EP-G塗装	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,500	室名札：撤去 中段棚・下段棚：撤去（物入）
		改修後	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：新設、下地調整 ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 5.5：新設、下地調整（物入）	ｼﾅ合板下貼 ㋐ 5.5：新設 防汚抗菌ｳｲﾄﾞ巾木：新設	300	EP-G塗装、下地調整 ｼﾅ合板貼 ㋐ 5.5：新設、下地調整（物入）	既存のまま ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 4.0：新設、下地調整（物入）	—	室名札：新設、樹脂製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ：新設 ｱﾙﾐ建具：開閉調整 ｶｰﾃﾝBOX：EP-G塗装
	指導訓練室５	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 6.5：撤去 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ置敷 ㋐ 3.5：撤去	ｽﾀﾞｰﾙｽ ㋐ 18.0 SOP塗装：撤去	100	ﾗﾜﾝ合板目透し貼 ㋐ 5.5 木軸下地 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10（外壁面） EP-G塗装	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,500	室名札：撤去 中段棚・下段棚：撤去（物入）
		改修後	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：新設、下地調整 ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 5.5：新設、下地調整（物入）	ｼﾅ合板下貼 ㋐ 5.5：新設 防汚抗菌ｳｲﾄﾞ巾木：新設	300	EP-G塗装、下地調整 ｼﾅ合板貼 ㋐ 5.5：新設、下地調整（物入）	既存のまま ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 4.0：新設、下地調整（物入）	—	室名札：新設、樹脂製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ：新設 ｱﾙﾐ建具：開閉調整 ｶｰﾃﾝBOX：EP-G塗装
	児童用トイレ２	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 防汚性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ ㋐ 2.0（ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ）	—	—	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 陶磁器ﾀｲﾙ貼 100角	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,500	
		改修後	既存のまま	—	—	既存のまま	既存のまま	—	既存手摺：修繕（補強）
	倉庫２	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 ㋐ 2.0	ﾗﾜﾝ ㋐ 18.0 OS塗装	100	ﾗﾜﾝ合板下貼 ㋐ 9.0 目透し張 木軸下地	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.0 EP塗装	2,500	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	遊戯室	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 6.5：撤去 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ置敷 ㋐ 3.5：撤去	ﾀﾓ集成材 ㋐ 18.0 UC塗装：撤去	300	ﾗﾜﾝ合板下貼 ㋐ 5.5 目透し張 木軸下地 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10（外壁面） SOP塗装	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,500	室名札(3か所)：撤去
		改修後	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：新設、下地調整 ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 5.5：新設、下地調整（物入）	ｼﾅ合板下貼 ㋐ 5.5：新設 防汚抗菌ｳｲﾄﾞ巾木：新設	300	EP-G塗装、下地調整 ｼﾅ合板貼 ㋐ 5.5：新設、下地調整（物入）	既存のまま ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 4.0：新設、下地調整（物入）	—	室名札(3か所)：新設、樹脂製ｺｰﾅｰｶﾞｰﾄﾞ：新設 ｶｰﾃﾝBOX：EP-G塗装

海老名市立わかば会館

内部仕上表

階数	室名	区分	床	巾木		壁	天井		備考
3階	児童用トイレ3	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 防汚性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ ㋐ 2.0（ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ）	ﾀﾓ集成材 ㋐ 18.0 UC塗装	100	ﾗﾜﾝ合板下貼 ㋐ 5.5 目透し張 木軸下地 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10（外壁面） SOP塗装	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,500	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	倉庫2	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 ㋐ 2.0	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し、VP塗装	100	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し VP塗装	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,500	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	学園内廊下	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 6.5：撤去 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ置敷 ㋐ 3.5：撤去	ｿﾌﾄ巾木：撤去 硬質塩ビ樹脂ｷｬｸﾌﾟﾚｰﾄ：撤去	100 200	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 吹付ﾀｲﾙ（ゆず肌）	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,500	室名札：撤去、樹脂手摺笠木：撤去 掲示板 W1,800×H1,000：撤去
		改修後	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5：新敷、下地調整	防汚抗菌ﾜｲﾄﾞ巾木：新敷	300	複層塗材Ｅ ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ塗装：新敷、下地調整	既存のまま	—	室名札：新敷、樹脂手摺笠木：新敷
	家族控室	改修前	木床組下地 有孔ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 12.0、ﾀﾀﾐ敷 ㋐ 60 一部棧縁甲板 ㋐ 15.0	たたみ寄せ：撤去	—	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.5 GL工法 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10（外壁面） ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 和風化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,350	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	家族控室 台所	改修前	敷式二重床 ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ ㋐ 3.5	ｿﾌﾄ巾木	100	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.5 GL工法 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10（外壁面） ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,500	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	和室	改修前	木床組下地 有孔ﾗﾜﾝ合板貼 ㋐ 12.0、ﾀﾀﾐ敷 ㋐ 60	たたみ寄せ：撤去	—	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.5 GL工法 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10（外壁面） ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 和風化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,350	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	体育室兼講堂	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ ｸｯｼｮﾝｺﾞﾑ付き二ｯﾄﾌﾛｱ、ﾗﾜﾝ合板 ㋐ 9.0 ﾗﾗ集成材複層合板 ㋐ 27.0 UC塗装	ﾀﾓ集成材 ㋐ 18.0 UC塗装	300	ﾀﾞｲﾜｳｫｰﾙ ㋐ 12.0 木軸下地 ｳﾚﾀﾝ断熱材吹付 ㋐ 10（外壁面） ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.0 岩綿吸音板 ㋐ 15.0（ﾎﾞｰﾀﾞｰ）、岩綿吸音板 ㋐ 9.0（平）	4,800	室名札（2か所）：撤去
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	室名札（2か所）：新設
	男女更衣室・更衣室	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 6.5 ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ置敷 ㋐ 3.5	ｿﾌﾄ巾木	100	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し VP塗装	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,400	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	倉庫4	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 ㋐ 2.0	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し、VP塗装	100	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し VP塗装	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,400	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	第３会議室	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ｸｯｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 6.5	ｿﾌﾄ巾木	100	石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.5 GL工法 ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0	2,500	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	EV 前室	改修前	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 ㋐ 2.0：撤去	ｿﾌﾄ巾木：撤去	100	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し	LGS下地 ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 ㋐ 5.0 目透貼 VP塗装	2,400	
		改修後	複層ﾋﾞﾆｰﾙ床ｼｰﾄ貼 ㋐ 2.0 ：新敷、下地調整	ｿﾌﾄ巾木：新敷	100	既存のまま	既存のまま	—	
共通	階段室	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ置敷 ㋐ 6.5（蹴上共）：撤去 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 ㋐ 2.0（蹴上共）：撤去（1階～地下）	ｿﾌﾄ巾木・ｻﾗﾗ ｿﾌﾄ巾木：撤去	100	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 ㋐ 8.0 LGS下地 吹付ﾀｲﾙ（ゆず肌）	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ吹付 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5、岩綿吸音板 ㋐ 9.0、LGS下地（最上階）	2,400	ﾊｰﾄﾋﾞﾙﾏｰｶｰ：撤去 ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｺﾞﾑ：撤去
		改修後	ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ貼 ㋐ 6.5（蹴上共）：新敷、下地調整 長尺塩ﾋﾞｼｰﾄ貼 ㋐ 2.0（蹴上共）：新敷（1階～地下）、下地調整	ｿﾌﾄ巾木・ｻﾗﾗ ｿﾌﾄ巾木：新敷	100	複層塗材Ｅ ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ塗装：新敷	既存のまま（最上階） 複層塗材Ｅ ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ塗装：新敷	—	ﾊｰﾄﾋﾞﾙﾏｰｶｰ：新敷 ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟｺﾞﾑ：新敷
	男女トイレ	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 防滑性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ ㋐ 2.5 ：撤去（1階・2階一部）	ｿﾌﾄ巾木：撤去（1階・2階一部）	60	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ ㋐ 5.0 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.5 LGS下地 複層塗材Ｅ	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5：撤去（1階一部）	2,400	大便器：撤去（1階・2階）、小便器用手摺：取外し（1階・2階） 耐水合板 ㋐ 12.0、ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 ㋐ 3.0、ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ ㋐ 20（ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板）：仕上撤去（1階・2階 ﾗｲﾆﾝｸﾞ） LGS下地、耐水合板 ㋐ 12.0、ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 ㋐ 3.0、ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ ㋐ 20（ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板）：撤去（1階・2階 ﾗｲﾆﾝｸﾞ）
		改修後	既存のまま 防滑性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ ㋐ 2.5 ：新敷、下地調整（1階・2階一部）	既存のまま ｿﾌﾄ巾木：新敷（1階・2階一部）	60	既存のまま 複層塗材Ｅ ﾄｯﾌﾟｺｰﾄ塗装：新敷、下地調整（1階・2階）	既存のまま 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5：新敷（1階一部）	—	幼児用手摺：新敷（1階・2階）、小便器用手摺：再取付（1階・2階）、既存穴：軽量ｺﾝｸﾘｰﾄ打敷（1階・2階） L耐水合板 ㋐ 12.0、ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 ㋐ 3.0、ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ ㋐ 20（ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板）：仕上新敷（1階・2階 ﾗｲﾆﾝｸﾞ） LGS下地、耐水合板 ㋐ 12.0、ﾒﾗﾐﾝ化粧合板 ㋐ 3.0、ﾒﾗﾐﾝﾎﾞｽﾄﾌｫｰﾑ ㋐ 20（ﾗｲﾆﾝｸﾞ甲板）：新敷（1階・2階 ﾌｶﾘ壁、ﾗｲﾆﾝｸﾞ）
	みんなのトイレ	改修前	ｺﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ 防滑性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ ㋐ 2.5	ｿﾌﾄ巾木	60	ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ ㋐ 5.0 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 12.5 LGS下地 複層塗材Ｅ	LGS下地 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ㋐ 9.5	2,400	
		改修後	既存のまま	既存のまま	—	既存のまま	既存のまま	—	
	EVかご内	改修前							室内板：撤去
		改修後							室内板：新敷

海老名市立障がい者地域活動センター

延床面積表　　求積図修正反映

階	棟	部屋名	記号	寸法(mm) W又はL	寸法(mm) H又はR	面積(㎡)	計算式
1	西	風除室	風1-1	4,095	2,355	9.643725	W×H　H寸法・小計修正
		玄関	玄1-1	3,775	4,925	18.591875	W×H　H寸法・小計修正
			廊1-西1	10,465	2,730	28.569450	W×H
		共用廊下	廊1-西2	2,275	4,550	10.351250	W×H
			小計			38.920700	
			自1-1	1,730	2,730	4.7229	W×H
		自販機コーナー	自1-2	1,000	2,370	2.3700	W×H
			小計			7.0929	
			収1-1	1,565	1,310	2.05015	W×H
		階段下倉庫	収1-2	3,185	3,240	10.3194	W×H
			小計			12.36955	
		給湯	給-1	1,620	1,310	2.1222	W×H
		ELV	ELV-1	2,730	3,640	9.9372	W×H
			ス1-1	15,015	1,820	27.3273	W×H
			ス1-2	4,549	7,147	10.4027315	1/2×L×R-「相1-1」
			ス1-3	1,820	11,830	21.5306	W×H
		スロープ	ス1-4	600	2,730	0.819	1/2×W×H
			ス1-5	600	2,730	0.819	1/2×W×H
			ス1-6	600	2,730	0.819	1/2×W×H
			ス1-7	600	2,730	0.819	1/2×W×H
			小計			62.5366915	
			福1-1	1,820	910	1.6562	W×H
			福1-2	3,185	1,820	5.7967	W×H
			福1-3	2,730	3,640	9.9372	W×H
		事務室1	福1-4	2,730	7,280	19.8744	W×H
			福1-5	4,095	4,550	18.63225	W×H
			福1-6	7,147	4,550	16.259425	1/2×L×R
			小計			72.156175	
			相1-1	4,288	2,730	5.85312	1/2×L×R
		相談室1	相1-2	1,820	2,730	4.9686	W×H
			小計			10.82172	
		厨房	厨1-1	5,460	7,280	39.7488	W×H
		食品庫	食品1-1	1,820	4,095	7.4529	W×H
		検収室	検1-1	1,820	3,185	5.7967	W×H
		厨房通路	通1-1	4,550	1,365	6.21075	W×H
		WC	厨WC-1	2,730	1,365	3.72645	W×H
		厨房事務室	事1-2	2,730	2,560	6.98880	W×H
			事1-2	1,705	1,990	3.39295	W×H
			小計			10.38175	
		ゴミ置場	ゴ1-1	2,730	1,820	4.9686	W×H
			P1-西1	1,025	1,980	2.03975	W×H
		PS/DS	P1-西2	1,365	910	1.24215	W×H
			P1-西3	1,000	360	0.36	W×H
			小計			3.6419	
		エキスパンション※	エ1-1	320	4,925	1.576	W×H　H寸法・小計修正
		小計				327.6965265	
小計(1階 西 屋内)・・①						**327.69**	少数点第3位以下切り捨て
	中	共用廊下(中)	小1-1	4,095	4,550	18.63225	W×H
		ELV	ELV-2	3,790	3,640	13.7956	W×H
		消火ポンプ室	設1-1	3,790	3,640	13.7956	W×H
		小計				46.22345	
小計(1階 中 屋内)・・②						**46.22**	少数点第3位以下切り捨て
	東		廊1-東1	1,820	3,640	6.6248	W×H
			廊1-東2	1,805	3,640	6.5702	W×H
			廊1-東3				欠番
		共用廊下	廊1-東4	1,365	2,730	3.72645	W×H
			廊1-東5	1,365	3,640	4.96860	W×H
			廊1-東6	2,220	7,280	16.16160	W×H
			廊1-東7	4,550	5,460	24.84300	W×H
			廊1-東8	6,825	4,550	31.05375	W×H
			廊1-東9	2,120	2,730	5.78760	W×H
			小計			99.73600	
		相談2	相2-1	2,730	3,640	9.9372	W×H
		相談3	相3-1	3,930	3,640	14.3052	W×H
			大1-1	7,280	9,710	70.6888	W×H
		大会議室	大1-2	6,638	1,600	10.6208	W×H
			小計			81.3096	
		中会議室	中1-1	7,280	3,250	23.66	W×H
		小会議室	小1-1	7,280	2,730	19.8744	W×H
		みんなのWC	み1-1	3,850	2,730	10.51050	W×H
			WC1-1	5,970	3,790	22.6263	W×H
		WC	WC1-2	2,120	760	1.61120	W×H
			小計			24.23750	
			倉1-1	8,190	1,820	14.9058	W×H
		倉庫1	倉1-2	5,915	1,820	10.7653	W×H
			小計			25.6711	
		階段下倉庫	収2-2	3,640	5,460	19.8744	W×H
			P1-東1	3,185	910	2.89835	W×H
			P1-東2	2,730	910	2.4843	W×H
		PS/DS	P1-東3	605	3,640	2.2022	W×H
			P1-東4	3,850	760	2.9260	W×H
			P1-東5	642	1,600	1.0272	W×H
			小計			11.53805	
		エキスパンション※	エ1-2	320	7,280	2.32960	W×H
		小計				342.98355	
小計(1階 東 屋内)・・③						**342.98**	少数点第3位以下切り捨て

階	棟	部屋名	記号	寸法(mm) W又はL	寸法(mm) H又はR	面積(㎡)	計算式
2	西		廊2-西1	12,740	2,730	34.7802	W×H
			廊2-西2	8,645	910	7.8695	W×H
			廊2-西3	2,730	5,460	14.9058	W×H
			廊2-西4	3,185	1,820	5.7967	W×H
		共用廊下	廊2-西5	1,317	1,502 844	0.370277	W×(H1+H2)/2-「事2-10」
			廊2-西6	598	2,040	0.862316	W×（H1+H2）×1/2
			廊2-西7	359	2,040	0.73236	W×H
			廊2-西8	3,410 359	1,525	0.2021275	(W1+W2)×H)/2-「事2-5」
			小計			65.5167305	
		階段 ELV	階1-1	3,185	4,550	14.49175	W×H
			ELV-1	2,730	3,640	9.93720	W×H
			ス2-4(1)	5,805	4,685	8.5128375	1/2×L×R-「ス2-4(2)」
			ス2-4(2)	3,550	2,865	5.085375	1/2×L×R 小計に含まない
		スロープ	ス2-5	13,115	1,820	23.8693	W×H
			ス2-6	8,350	4,390	12.0446	1/2×L×R-「食1-5」
			ス2-7	1,820	9,100	16.562	W×H
			ス2-8	2,730	600	1.638	W×H
			小計			62.6267375	
			食1-1	4,550	2,730	12.4215	W×H
			食1-2	4,550	6,370	28.9835	W×H
		食堂兼休憩所	食1-3	1,143	2,037 2,432	2.5540335	W×（H1+H2）×1/2
			食1-4	837	2,432	1.0177920	W×H×1/2
			食1-5	4,890	2,570	6.2836500	1/2×L×R
			食1-6	1,365	4,550	6.2107500	W×H
			小計			57.4712255	
			事2-1	3,640	2,725	9.919	W×H
			事2-2	2,833	915	2.592195	W×H
			事2-3	2,960	3,640	10.7744	W×H
			事2-4	75	3,410	0.25575	W×H
		事務室2・倉庫2	事2-5	1,567	3,410	2.671735	1/2×L×R
			事2-6	1,337	667	0.4458895	1/2×W×H
			事2-7	2,743	1,337	3.667391	W×H
			事2-8	1,135	568	0.3223400	1/2×W×H
			事2-9	1,135	1,502	1.70477	W×H
			事2-10	1,564	1,502	1.1745640	1/2×L×R
			倉2-1	3,185	5,460	17.3901	W×H
			小計			50.9181345	
		リハビリテーション	リ1-1	4,288	2,730	5.85312	1/2×L×R
			リ1-2	4,550	2,730	12.4215	W×H
		ルーム	リ1-3	7,280	3,640	26.4992	W×H
			小計			44.77382	
		みんなのWC	み2-1	2,730	2,730	7.4529	W×H
			み2-2	1,820	910	1.6562	W×H
			小計			9.1091	
		更衣室	更1-1	4,550	2,275	10.35125	W×H
			更1-2	4,550	2,275	10.35125	W×H
			小計			20.7025	
		清掃スタッフルーム	清1-1	5,915	910 2,948	11.410035	W×（H1+H2）×1/2
			P2-西1	910	910	0.8281	W×H
			P2-西2	3,185	910	2.89835	W×H
		PS/DS	P2-西3	910	910	0.8281	W×H
			P2-西4	806	915	0.73749	W×H
			小計			5.29204	
		エキスパンション※	エ2-1	455	5,460	2.4843	W×H
		小計				354.733573	
小計(2階 西 屋内)・・④						**354.73**	少数点第3位以下切り捨て
	中	共用廊下	廊2-中1	3,790	1,820	6.8978	W×H
		共用廊下	ホ2-1	3,790	4,550	17.2445	W×H
		ELV	ELV-2	3,790	3,640	13.7956	W×H
		WC	WC2-1	3,790	1,820	6.8978	W×H
		小計				44.8357	
小計(2階 中 屋内)・・⑤						**44.83**	少数点第3位以下切り捨て
	東		廊2-東1	3,490	2,730	9.5277	W×H
			廊2-東2	5,005	3,640	18.218200	W×H
			廊2-東3	3,831	814	1.559217	1/2×W×H
		共用廊下	廊2-東4	3,831 2,859	4,576	15.30672	(W1+W2)×H×1/2
			廊2-東5	2,730	2,730	2.181270	W×H-「ル-4」
			廊2-東6	6,044 5,077	4,550	25.300275	(W1+W2)×H×1/2
			廊2-東7	1,820	1,820	0.71071	W×H-「第1-2」
			廊2-東8	10,010	2,730	27.3273	W×H
			小計			100.131392	
		階段	階段2-2	3,640	4,550	16.562	W×H
			階段2-3	3,640	910	3.3124	W×H
			小計			19.8744	
			第1-1	2,709 4,440	2,604	9.307998	(W1+W2)×H×1/2
			第1-2	2,859	1,820	2.601690	1/2×L×R
			第1-3	3,640	1,820	6.6248	W×H
			第1-4	5,460	910	4.9686	W×H
			第1-5	800	2,855	2.284	W×H
			第1-6	9,300	3,699	34.4007	W×H
		第1ケアルーム	第1-7	9,300 7,065	2,188	17.90331	(W1+W2)×H×1/2
			第1-8	4,440	3,765	16.7166	W×H
			第1-9	2,840	3,152 3,765	9.83634	W×（H1+H2）×1/2
			第1-10	6,783	4,982	16.896453	1/2×L×R
			第1-11	3,640	1,820	6.6248	W×H
			第1-12	820	2,327	1.90814	W×H
			第1-13	820	1,500	1.23	W×H
			小計			131.303431	
		第1-WC(男)	第1WC-1	2,322	658	1.527876	W×H
			第1WC-2	2,730	2,072	5.656560	W×H
			小計			7.184436	
		第1-WC(女)	第1WC-3	2,730	2,730	7.4529	W×H
			小計			7.4529	

階	棟	部屋名	記号	寸法(mm) W又はL	寸法(mm) H又はR	面積(㎡)	計算式
2	東		第3-1	925	1,820	1.6835	W×H
			第3-2	2,565	3,700	9.4905	W×H
		第3ケアルーム	第3-3	2,505	850	2.1293	W×H
			第3-4	8,190	7,340	60.1146	W×H
			第3-5	6,220	850	5.287	W×H
			小計			78.7049	
		第3-WC(男女)	第3WC-1	3,035	2,730	8.2856	W×H
			第2-1	2,136	1,200	1.2816	1/2×L×R
			第2-2	6,892	1,200	4.1352	1/2×W×H
		第2ケアルーム	第2-3	1,200	7,469	8.9628	W×H
			第2-4	6,990	7,469 7,210	51.303105	W×（H1+H2）×1/2
			小計			65.682705	
			ク-1	1,365	2,730	3.72645	W×H
		クールダウン室	ク-2	1,365	1,365	1.863225	W×H
			小計			5.589675	
		第2-WC(共用)-1	第2WC-1	1,820	2,730	4.9686	W×H
		第2-WC(共用)-2	第2WC-2	1,820	2,730	4.9686	W×H
		第2-更衣室	更2-1	1,820	2,730	4.9686	W×H
		玄関	玄2-1	2,379	2,844 6,343	6.1651785	W×（H1+H2）×1/2
			玄2-2	2,288	2,339 482	0.551408	1/2×W×H
			小計			6.7165865	
			ホ3-1	2,744	2,288 1,705	5.478396	W×（H1+H2）×1/2
		ホール	ホ3-2	3,831	5,528 6,343	22.7389005	W×（H1+H2）×1/2
			ホ3-3	1,348	6,343	4.275182	1/2×W×H
			小計			32.4924785	
			ル-1	3,185	2,730	8.69505	W×H
		スヌーズレンルーム	ル-2	1,365	4,095	5.58968	W×H
			ル-3	1,820	2,730	4.9686	W×H
			ル-4	3,862	2,730	5.27163	1/2×L×R
			小計			24.524955	
		一般脱衣室	一脱-1	2,730	4,550	12.4215	W×H
		特浴脱衣室1	特脱-1	2,730	4,550	12.4215	W×H
			特脱-2-1	2,730	3,877	10.58421	W×H
		特浴脱衣室2	特脱-2-2	1,857	673	1.249761	W×H
			小計			11.8339710	
		洗濯室	洗-1	1,820	1,870	3.4034	W×H
			洗-2	1,260	860	1.0836	W×H
			小計			4.4870	
		WC（浴室）	浴WC-1	1,078	260	0.28028	W×H
			浴WC-2	1,820	1,560	2.8392	W×H
			小計			3.11948	
		一般浴室	一浴-1	3,060	3,640	11.13840	W×H
			一浴-2	2,400	3,280	7.87200	W×H
			小計			19.01040	
		特浴1	特浴1-1	2,730	5,250	14.3325	W×H
		特浴2	特浴2-1	3,640	4,895	17.8178	W×H
			特浴2-2	2,135	345	0.736575	W×H
			小計			18.554375	
		PS/DS	P2-東1	3,035	910	2.76185	W×H
			P2-東2	3,035	910	2.76185	W×H
			P2-東3	470	2,730	1.2831	W×H
			P2-東4	1,365	910	1.24215	W×H
			P2-東5	3,640	910	3.3124	W×H
			P2-東6	742	260	0.19292	W×H
			P2-東7	1,505	345	0.519225	W×H
			P2-東8	560	860	0.4816	W×H
			P2-東9	408	658	0.268464	W×H
			P2-東10	2,400	360	0.86400	W×H
			P2-東11	873	673	0.587529	W×H
			P2-東12	2,030	850	1.7255	W×H
			P2-東13	800	2,060	1.648	W×H
			P2-東14	800	1,014 845	0.7436	W×（H1+H2）×1/2
			小計			18.392188	
		エキスパンション※	エ2-2	455	910	0.41405	W×H
			エ2-3	455	6,370	2.89835	W×H
			小計			3.3124	
		小計				620.734473	
小計(2階 東 屋内)・・⑥						**620.73**	少数点第3位以下切り捨て

※「エキスパンション」の面積は、通り抜けできる通路等他用途となる箇所は除く

階	棟	部屋名	記号	寸法(mm) W又はL	寸法(mm) H又はR	面積(㎡)	計算式
1	西	搬入口	搬1-1	1,820	3,185	5.7967	W×H
			ベ-1	1,800	1,000	1.80	W×H
		ベンチ	ベ-2	1,800	1,000	1.80	W×H
			小計			3.60	
		駐輪場	駐輪-1	2,400	2,000	4.80	W×H
			駐輪-2	3,600	2,000	7.20	W×H
			小計			12.00	
			ピ-西1	3,646	2,562	4.670526	1/2×L×R
			ピ-西2	2,962	2,440	3.613640	1/2×W×H
			ピ-西3	2,650	2,440	6.466000	W×H
			ピ-西4	1,800	1,440	2.592000	W×H
			ピ-西5	2,240	2,440	5.465600	W×H
			ピ-西6	1,460	1,183 1,682	2.09145	W×（H1+H2）×1/2
			ピ-西7	2,910	2,000	5.82	W×H
			ピ-西8	1,800	3,550	6.39	W×H
		ピロティ	ピ-西9	4,550	4,550	4.443075	W×H-[南1-6]
			ピ-西10	4,708	4,550	21.4214	W×H
			ピ-西11	2,840	9,100	25.844	W×H
			ピ-西12	5,040	1,733	4.36716	1/2×W×H
			ピ-西13	555	1,733 111	0.51171	W×（H1+H2）×1/2
			ピ-西14	5,440	1,714 3,589	14.42416	W×（H1+H2）×1/2
			ピ-西15	5,844	3,590	10.489980	1/2×L×R
			ピ-西16	4,000	2,000	8.00	W×H
			ピ-西17	1,255	320	0.4016	W×H
			小計			127.012301	
		小計				148.409001	
小計(1階 西 屋外)・・⑦						**148.40**	少数点第3位以下切り捨て
	東		ベ-3	1,800	1,000	1.80	W×H
		ベンチ	ベ-4	1,800	1,000	1.80	W×H
			ベ-5	1,800	1,000	1.80	W×H
			ベ-6	1,800	1,000	1.80	W×H
			小計			7.20	
		PS/DS	P1-外	910	2,270	2.0657	W×H
			駐-1	10,800	5,965	64.422	W×H
			駐-2	4,430	5,000	22.15	W×H
			駐-3-1	4,430	4,034	17.87062	W×H
		駐車場	駐-3-2	4,538	966	4.383708	W×H
			駐-4-1	4,538	2,342	10.627996	W×H
			駐-4-2	4,430	2,658	11.77494	W×H
			小計			131.229264	
			ピ-東1	8,340	2,710	22.6014	W×H
			ピ-東2	2,100	1,800	3.78	W×H
			ピ-東3	3,100	2,170	6.727	W×H
			ピ-東4	1,800	1,710	3.078	W×H
			ピ-東5	3,965	2,710	10.745	W×H
			ピ-東6	205	3,970	0.814	W×H
			ピ-東7	1,848 1,668	794	1.395852	(W1+W2)×H×1/2
			ピ-東8	2,628	817 255	1.408608	W×（H1+H2）×1/2
			ピ-東9	1,608	645 306	0.764604	W×（H1+H2）×1/2
			ピ-東10	2,430	1,393	3.38499	W×H
			ピ-東11	1,000	3,136	3.136	W×H
		ピロティ	ピ-東12	1,000	5,010	5.01	W×H
			ピ-東13	4,999	9,946	39.167348	(W1+W2)×H×1/2
			ピ-東14	2,538	1,230	3.12174	W×H
			ピ-東15	2,967 2,485	2,270	6.18802	(W1+W2)×H×1/2
			ピ-東16	2,395 2,012	1,800	3.9663	(W1+W2)×H×1/2
			ピ-東17	2,430	1,230	2.9889	W×H
			ピ-東18	2,946	623	0.917679	1/2×W×H
			ピ-東19	2,946 2,183	3,594	9.216813	(W1+W2)×H×1/2
			ピ-東20	4,613 4,375	1,088	4.889472	(W1+W2)×H×1/2
			ピ-東21	5,970	4,375	13.0593750	1/2×L×R
			小計			146.3611010	
		外部	外1-1	2,285	1,820	4.1587	W×H
		小計				291.0147650	
小計(1階 東 屋外)・・⑧						**291.01**	少数点第3位以下切り捨て
2	東	バルコニー	バ-1	3,640	1,220	4.4408	W×H
			バ-2	310	2,730	0.8463	W×H
			小計			5.287	
		設備スペース	設-1	1,600	2,400	3.840	W×H
			設-2	2,420	4,550	11.011	W×H
			小計			14.851	
		小計				20.1381	
小計(2階 東 屋外)・・⑨						**20.13**	少数点第3位以下切り捨て
渡		**渡り廊下**	渡-1	8,640	320	2.7648	
小計(渡り廊下)・・・⑩						**2.76**	少数点第3位以下切り捨て

延床面積総合計

延床面積総合計(A+B)	**2,199.48**	㎡

容積率に含まない範囲（延床面積の1/5以下）

ELV　合計	47.46 ㎡
車庫合計	131.22 ㎡
駐輪場合計	12.00 ㎡
合計・・C	**190.68 ㎡**

容積率　=(延床面積-C)/敷地面積2196.93㎡×100　追加

容積率	**91.44**	%

※棟・屋内外・階ごとの延床面積：求積図に記載

海老名市立障がい者地域活動センター

内部仕上表

階	棟	室名	建具番号	面積 (m²)	天井高 (m)	平均天井高 (m)	気積 (m³)	床	巾木	壁	廻縁	天井	備考
		ピロティ下駐車場						ｲﾝﾀｰﾛｯｷﾝｸﾞ 舗装/ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	なし	外壁-RC普通型枠	目透かし	軒天-木毛	内装制限（壁・天井準不燃以上）
1	西	風除室			2.6			床-タイル/ユニット	なし	壁-RC杉型枠　壁-RC	目透かし	天井-木毛	
		玄関ホール			2.6			床-長尺/ユニット	なし	壁-RC杉型枠　壁-RC	目透かし	天井-木毛	
		廊下（西側）			2.6			床-長尺/ユニット	なし	壁-木/断熱　壁-RC	目透かし	天井-木毛	
		自販機コーナー			2.6			床-長尺/ユニット	なし	壁-RC	目透かし	天井-木毛	
		スロープ						床-長尺/スロープ	なし	壁-ボード/腰壁　壁-木/断熱	目透かし	天井-木吸音	
		事務室1（通所 生活介護事業所）	第４ヘ(5)		2.6			床-TC/OA　床-TC/鋼製床	なし	壁-ボード/断熱　壁-ボード/RC	目透かし	天井-木毛（不燃）	
		相談室1	第４ヘ(5)		2.6			床-長尺/ユニット	なし	壁-ボード/断熱	目透かし	天井-木毛（不燃）	
		階段下倉庫	第４ヘ(2)					床-長尺/鋼製床	なし	壁-RC	目透かし	天井-木毛	
		厨房	第４ヘ(5)		2.4			床-厨房	巻き上げ	壁-厨房/GL	塩ビ	天井-岩綿	
		食品庫	第４ヘ(2)		2.4			床-厨房	巻き上げ	壁-厨房/GL	塩ビ	天井-岩綿	
		検収室	第４ヘ(2)		2.4			床-長尺/ユニット	巻き上げ	壁-ボード/断熱	塩ビ	天井-岩綿	
		配膳室			2.4			床-厨房	巻き上げ	壁-厨房/GL	塩ビ	天井-岩綿	
		厨房トイレ	第４ヘ(2)		2.4			床-WC長尺/ユニット	巻き上げ	壁-耐水/LGS	塩ビ	天井-岩綿	
		厨房事務室	第４ヘ(5)		2.6			床-長尺/ユニット	巻き上げ	壁-ボード/断熱	塩ビ	天井-岩綿	
	中	ELVホール	第４ヘ(2)		2.6			床-タイル/ユニット	なし	壁-ボード/断熱/腰壁	目透かし	天井-木毛	
		設備スペース	第４ヘ(2)		2.4			床-RC	アルミ巾木	壁-ボード/断熱	塩ビ	天井-岩綿	
	東	廊下（東側）	第４ヘ(2)		2.6			床-長尺/ユニット 床-長尺/鋼製床	なし	壁-ボード/断熱/腰壁	目透かし	天井-木毛	
		相談室2	第４ヘ(5)		2.6			床-長尺/鋼製床	なし	壁-ボード/断熱/腰壁	目透かし	天井-木毛（不燃）	LGS壁内　防音
		相談室3	第４ヘ(5)		2.6			床-長尺/鋼製床	なし	壁-ボード/断熱/腰壁	目透かし	天井-木毛（不燃）	LGS壁内　防音
		大会議室	※126ホの2 ※1型1ヶ		2.6			床-TC/ユニット　床-TC/鋼製床	なし	壁-ボード/断熱/腰壁	目透かし	天井-木毛（不燃）	
		中会議室	※126ホの2 ※1型1ヶ		2.6			床-TC/ユニット	なし	壁-ボード/断熱/腰壁	目透かし	天井-木毛（不燃）	
		小会議室	※126ホの2 ※1型1ヶ		2.6			床-TC/ユニット	なし	壁-ボード/断熱/腰壁	目透かし	天井-木毛（不燃）	
		みんなのWC-1	第４ヘ(2)		2.4			床-WC長尺/鋼製床	巻き上げ	壁-ボード/断熱　壁-ボード/LGS	塩ビ	天井-岩綿	LGS壁内　防音
		WC	第４ヘ(2)		2.4			床-WC長尺/鋼製床	巻き上げ	壁-ボード/断熱　壁-ボード/LGS	塩ビ	天井-岩綿	LGS壁内　防音
		倉庫1	第４ヘ(2)		2.4			床-長尺/ユニット	アルミ巾木	壁-ボード/断熱	塩ビ	天井-岩綿	
		階段下倉庫	第４ヘ(2)					床-長尺/鋼製床	なし	壁-RC	目透かし	天井-木毛	
2	西	廊下（西側）						床-長尺/ユニット	なし	壁-木/断熱　壁-ボード/腰壁	目透かし	天井-木吸音	
		食堂兼休憩所						床-長尺/ユニット	なし	壁-木/断熱　壁-ボード/腰壁	目透かし	天井-木吸音	
		事務室2						床-TC/OA	なし	壁-ボード	目透かし	天井-木吸音	
		（倉庫２）			2.6			床-長尺/ユニット	アルミ巾木	壁-ボード	塩ビ	天井-岩綿	室内　防音
		リハビリルーム						床-長尺/ユニット	なし	壁-木/断熱　壁-ボード/腰壁	目透かし	天井-木吸音	
		みんなのWC-2	第４ヘ(2)		2.4			床-WC長尺/ユニット	巻き上げ	壁-耐水	塩ビ	天井-岩綿	室内　防音
		更衣室（男/女）	第４ヘ(2)		2.4			床-長尺/ユニット　床-畳/ユニット	アルミ巾木	壁-ボード	塩ビ	天井-岩綿	室内　防音
		清掃スタッフルーム	第４ヘ(2)		2.4			床-長尺/ユニット	アルミ巾木	壁-ボード	塩ビ	天井-岩綿	
								床-長尺/ユニット	アルミ巾木	壁-ボード/断熱			
	中	ELVホール	第４ヘ(2)		2.6			床-タイル/ユニット	なし	壁-ボード/腰壁	目透かし	天井-木毛	
		WC	第４ヘ(2)		2.4			床-WC長尺/ユニット	巻き上げ	壁-耐水/LGS	塩ビ	天井-岩綿	室内　防音
		WC前室	第４ヘ(2)		2.4								
	東	廊下（東側）						床-長尺/ユニット	なし	壁-ボード/腰壁	目透かし	天井-木吸音	
		第１ケアルーム						床-長尺/ユニット	なし	壁-木/断熱　壁-ボード/腰壁	目透かし	天井-木吸音	
		WC	第４ヘ(2)		2.40			床-WC長尺/ユニット	巻き上げ	壁-耐水	塩ビ	天井-岩綿	室内　防音
		WC	第４ヘ(2)		2.40			床-WC長尺/ユニット	巻き上げ	壁-耐水	塩ビ	天井-岩綿	室内　防音
		第３ケアルーム						床-長尺/ユニット	なし	壁-木/断熱　壁-ボード/腰壁	目透かし	天井-木吸音	
		WC	第４ヘ(2)		2.40			床-WC長尺/ユニット	巻き上げ	壁-耐水	塩ビ	天井-岩綿	室内　防音
		第２ケアルーム			2.6			床-長尺/ユニット	なし	壁-木/断熱　壁-ボード/腰壁	目透かし	天井-木毛	
		クールダウン室	第４ヘ(2)		2.6			床-長尺/ユニット	なし	壁-ボード/腰壁	塩ビ	天井-岩綿	室内　防音
		WC	第４ヘ(2)		2.4			床-WC長尺/ユニット	巻き上げ	壁-耐水	塩ビ	天井-岩綿	室内　防音
		WC	第４ヘ(2)		2.4			床-WC長尺/ユニット	巻き上げ	壁-耐水	塩ビ	天井-岩綿	室内　防音
		更衣室	第４ヘ(2)		2.6			床-WC長尺/ユニット	巻き上げ	壁-耐水	塩ビ	天井-岩綿	室内　防音
		玄関						床-長尺/ユニット	なし	壁-木/断熱　壁-ボード/腰壁	目透かし	天井-木吸音	
		ホール	第４ヘ(2)					床-長尺/ユニット	なし	壁-ボード/腰壁	目透かし	天井-木吸音	
		スヌーズレンルーム	第４ヘ(2)		2.6			床-長尺/ユニット	なし	壁-ボード/腰壁	目透かし	天井-木毛	
		一般脱衣室	第４ヘ(2)		2.6			床-長尺/ユニット	巻き上げ	壁-耐水/腰壁	塩ビ	天井-岩綿	
		特浴脱衣室1	第４ヘ(2)		2.6			床-長尺/ユニット	巻き上げ	壁-耐水/腰壁	塩ビ	天井-岩綿	
		特浴脱衣室2	第４ヘ(2)		2.6			床-長尺/ユニット	巻き上げ	壁-耐水/腰壁	塩ビ	天井-岩綿	
		洗濯室	第４ヘ(2)		2.6			床-長尺/ユニット	巻き上げ	壁-耐水/腰壁	塩ビ	天井-岩綿	
		WC	第４ヘ(2)		2.6			床-WC長尺/ユニット	巻き上げ	壁-耐水	塩ビ	天井-岩綿	
		一般浴室			2.6			床-長尺/浴室	なし	壁-浴室下　壁-浴室上	塩ビ	天井-浴室	
		特浴１			2.6			床-タイル/浴室	なし	壁-浴室下　壁-浴室上	塩ビ	天井-浴室	
		特浴2			2.6			床-タイル/浴室	なし	壁-浴室下　壁-浴室上	塩ビ	天井-浴室	
		1階ゴミ置き場			2.7			外床-塗膜	なし	外壁-RC	目透かし	軒天-木毛	

海老名市立障がい者地域活動センター

特記事項（特記なき限り下記とする）

「同等」「同等品」は「同等品以上」と読み替える。
床高はFL＝±０を基準とする。
外壁の防湿気密シートは JIS A 6930 同等とする。
基礎ﾊﾟﾗﾍﾟﾝは、気密ﾀｲﾌﾟとする。
内部の木柱・梁表し部はWP塗りとする。
特記無きかぎり、コンクリート打放しはA種とする。壁仕上下地部分はB種、ピット内部はC種とする。
特記無きかぎり、ステンレスはSUS304HLとする。
特記無きかぎり、鉄部は溶融亜鉛めっきとする。
木質系壁仕上げの出隅部分については糸面取りとする
内部塗装系壁仕上の出隅部分については塩ビコーナー材下地を設ける
特記なき木下地は杉材とする
軽量鉄骨天井下地仕様
・公共建築工事標準仕様書（最新版）の仕様以上とする
・野縁等は屋内19形、屋外25形とする
・野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔は900mm以下とし、周辺部は端から150mm以内とする
・野縁の間隔は303mm以下とする
・間口等のため野縁又は野縁受が切断された場合は、同材にて補強を行う。
吊りボルトの間隔が900mmを超える場合は水平補強及び斜材補強を行う
・耐震性を考慮した補強：斜め補強を設ける（差対する斜め材を1組とし、最横方向に馬屋が3.6m程度に配置する）
・屋外の軒天井における耐風圧性を考慮した補強：
風圧力1500N/㎡（正圧・負圧とも）として、補強を行う
斜め補強を設ける（相対する斜め材を１組とし、最横方向に間隔が3.6m程度に配置する）
天井壁が550mmを超える場合は吊りボルトを角パイプ19×19×1.2にて補強する
●シックハウス対策
対策１：内装仕上等：内装仕上、接着剤、下地、固定家具、すべてF☆☆☆☆以上
対策２：換気設備：機械設備図参照
対策３：天井裏など：建材F☆☆☆☆以上
※クロルピリホスの制限：クロルピリホスの添加、又は添加した建築材料の使用はありません。
※石綿等の制限：石綿、吹付石綿、吹付ﾛｯｸｳｰﾙ(含有率0.1%超え)の使用はありません。
※化学物質の濃度測定は特記仕様書によるものとする。
●火気使用室
厨房
●防火上主要な間仕切壁　　下地を両面共に、GB-R12.5+12.5とする。
１階：厨房に設ける
２階：ケアルームと廊下間に設ける
●認定番号（想定）
GB-R9.5　せっこうボード9.5mm：準不燃材料QM-9828
GB-R12.5 せっこうボード12.5mm：不燃材料NM-8619
ビニルクロス：不燃材料NM-3992
岩綿吸音板：不燃材料NM-8599
木毛セメント板（一般部）：準不燃材料QM-9020
木毛セメント板（不燃が必要な箇所）：不燃材料NM-0236
OSB:不燃材料NM-3851-2
天然木繊付不燃化粧板ｔ6（木柱梁不燃仕上部分）：不燃材料NM-1272

凡　例

SOP	合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り	CB	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ(下地)
EP	EP-Gに読み替える	LGS	軽量鉄骨(下地)
EP-G	艶有り合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り	GW	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ
NAD	ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散型塗料	SUS	ｽﾃﾝﾚｽ
OS	ｵｲﾙｽﾃｲﾝ塗り	HL	ﾍｱﾗｲﾝ
CL	ｸﾘｱﾗｯｶｰ塗り	GB-R	石膏ボード
UC	ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾆｽ塗り	GB-S	耐水石膏ボード
WP	木材保護塗装	DP	耐候性塗料塗

材料特記事項

※すべて同等品以上可とし、材料を指定するものではなく、材料選定の参考にするために記載しています。

●共通		
	木材保護塗装	日本エンバイロケミカルズ：キシラデコール
	止水材	クニミネ工業株式会社：クニシール
	撥水材	大日本技研：ランデックスコート
		SK化研セラミクリートSiカラークリア
	木毛セメント板	竹村工業：木毛セメント板ｔ15　吹付塗装品
●外部		
	ウレタン塗膜防水	一般部：X-1工法　標準色　ピット等室内：X-2工法　標準色
		基礎側面、土中防水：Y-1工法　標準色
	人工木ウッドデッキ	エア・ウォーターエコロッカ：DK-2020
	人工木ウッドデッキ	エア・ウォーターエコロッカ：エアルーバー
	置式タイル	置式タイル：セキスイ：リエナプラス同等品
●内部		
	長尺塩ビシート	東リ：フロアリューム　ソイルド
	WC用長尺塩ビシート	東リ：消臭NSトワル（防滑仕様とする）
	長尺塩ビシート（防滑）	サンゲツ：ニューセーフティ
	※スロープ床に適用	
	長尺塩ビシート（ｸｯｼｮﾝ性）	東リ：CFシート-SD　CF8510
	※第2ケアルーム、クールダウン室に適用	
	タイルカーペット	東リ：GA-100
	コンクリート保護塗装	ABC商会：セラミキュア
	浴室クッションフロア	東リ　バスナアルティ
	タイル	名古屋モザイク工業＿モンティニャック（細目地3mm）
	特殊防滑シート（厨房床）	ABC商会：アストロセーフティフロアVM-20
	アルミ巾木	創建：60096　焼付塗装
	ビニルクロス	サンゲツ：TH32502　消臭機能付き
	OSB	株式会社エスウッド：ひのきストランドボードｔ6.3　不燃タイプ
●断熱		
	吹付断熱材	建築物断熱用吹付け硬質ウレタンフォームA種1　ｔ50
	（１階床、壁、軒天）	
	木造部断熱材	高性能GW16ｋ t100
	（2階壁、屋根）	
●ほか		
	木仕上げ	杉材は姉妹都市である山形県白鷹町産を用いることが望ましい
	建具DP塗装	大日本塗料：Vフロン＃100Hスマイル上塗シルバー
	建具水性メタリック塗装	エスケー化研：水性ファインメタリック
		インターナショナルペイント：水性メタルコート
	天然木繊付不燃化粧板t6	恩加島木材工業　バネッセ　不燃

仕上凡例

●外部仕上		
屋根-ガルバ		カラーGL鋼板ｔ0.4立ハゼ葺き、アスファルトルーフィング、（一般部）木下地18x45/（軒先）硬質木片セメント板ｔ18、構造用合板ｔ12、垂木（高性能GW16k t100）、母屋（高性能GW16ｋｔ100）
屋根-RC		置式タイルｔ17、ウレタン塗膜防水、コンクリートスラブ
軒天-RC		撥水剤（半透明指定色）　コンクリートスラブ（設計ふかし20mm）
軒天-木毛		木毛セメント板ｔ15　塗装品　専用ビス留め（同色塗装）　LGS下地
軒天-木表し		木部表し　木材保護塗装
外壁-RC		撥水剤（半透明指定色）　化粧型枠コンクリート打放しA種　設計ふかし20mm
外壁-RC杉型枠		撥水剤（半透明指定色）　杉型枠（縦張り）コンクリート打放しA種　設計ふかし20mm
外壁-RC普通型枠		撥水剤（半透明指定色）　普通型枠打放しコンクリート　設計ふかし20mm　　※剥離剤塗布、補修
外壁-木毛		木毛セメント板ｔ15　塗装品　専用ビス留め（同色塗装）　木胴縁50x50@303　吹付け断熱材ｔ50
外壁-木		杉羽目板12ｘ120　実付　木材保護塗装、木横胴縁15ｘ45@303、透湿防水シート、硬質木片セメント板ｔ18、構造用合板ｔ12、高性能GW16k t100
外壁-ガルバ		カラーGL鋼板スパンドレルｔ14ｗ120目地なし、木横胴縁15ｘ45@303、透湿防水シート、硬質木片セメント板ｔ18、構造用合板ｔ12、高性能GW16k t100
		（内部側：GB-R12.5ｘ2枚）
外壁-ガルバ/耐火		カラーGL鋼板スパンドレルｔ14ｗ120目地なし、木横胴縁15ｘ45@303、透湿防水シート、強化石膏ボードｔ21ｘ2枚張り　構造用合板ｔ12　高性能GW16ｋ　ｔ100
		（内部側：強化石膏ボードｔ21ｘ2枚）
外壁-ガルバ/告示		カラーGL鋼板スパンドレルｔ14ｗ120目地なし、木横胴縁15ｘ45@303、透湿防水シート、強化石膏ボードｔ21ｘ3枚張り　構造用合板ｔ12　高性能GW16ｋ　ｔ100
		（内部側：強化石膏ボードｔ21ｘ3枚）
外床-塗膜		ウレタン塗膜防水　歩行用　コンクリートスラブ
外床-デッキ		人工木ウッドデッキｗ145ｔ30　鋼製下地、ウレタン塗膜防水（歩行用）コンクリートスラブ
●内部仕上		
天井-木毛	（RC部）	木毛セメント板ｔ15　塗装品　専用ビス留め（同色塗装）　LGS下地
	（木造部）	木毛セメント板ｔ15　塗装品　専用ビス留め（同色塗装）、強化石膏ボードｔ15、LGS下地
天井-岩綿	（RC部）	岩綿吸音板ｔ12フィニッシュ留め、GB-R12.5、LGS下地
	（木造部）	岩綿吸音板ｔ12フィニッシュ留め、強化石膏ボードｔ15、LGS下地
天井-木吸音		ラワン有孔ボードｔ5.5　木材保護塗装、強化石膏ボードｔ15、　LGS下地
~~天井-岩不燃~~		~~OSBｔ7　サンダーがけ品　LGS下地~~
天井-浴室		バスパネルｔ9　強化石膏ボードｔ15　防湿防水シート　LGS下地
床-長尺/ユニット		長尺塩ビシートｔ2、下地合板ｔ12+12、パーティクルボードｔ20、2重床ユニットフロア
床-長尺/鋼製床		長尺塩ビシートt2、下地合板t12+12,鋼製床（大引、根太、鋼製束）
床-長尺/スロープ		長尺塩ビシート（防滑）ｔ2、下地合板ｔ12、木下地30ｘ30@303　断熱吹付ｔ30
床-TC/OA		タイルカーペットt6、OAフロア
床-TC/鋼製床		タイルカーペットt6、OAフロアｔ50　下地合板ｔ12、鋼製床（大引、根太、鋼製束）
床-タイル/ユニット		磁器質タイルｔ10　下地合板ｔ12+12　パーティクルボードｔ20　2重床ユニットフロア
床-タイル/鋼製床		磁器質タイルｔ10　下地合板ｔ12+12、鋼製床（大引、根太、鋼製束）
床-タイル/〇〇/告示		告示228号の対応として、以下を追加する　GB-R12.5ｘ3枚パリ（総厚30以上）
床-WC/ユニット		WC用長尺塩ビシートｔ2、下地合板ｔ12+12、パーティクルボードｔ20、2重床ユニットフロア
床-WC/鋼製床		WC用長尺塩ビシートｔ2、下地合板ｔ12+12、鋼製床（大引、根太、ベース）
床-長尺/浴室		浴室用塩ビシートｔ3　水勾配1/100　防水モルタルｔ22　シンダーコンクリートｔ100～ワイヤーメッシュΦ6@100　スタイロ嵩上げ　FRP防水
床-タイル/浴室		磁器質タイルｔ10　300角　水勾配1/100　防水モルタルｔ20　シンダーコンクリートｔ100～ワイヤーメッシュΦ6@100　スタイロ嵩上げ　FRP防水
床-厨房		特殊防滑シート床材ｔ2　水勾配1/100以上　シンダーコンクリートｔ100～ワイヤーメッシュΦ6@100　スタイロ嵩上げ
床-畳/ユニット		琉球畳　ｔ30、下地合板ｔ12、パーティクルボードｔ20、２重床ユニットフロア
壁-ボード/断熱		寒冷紗パテしごきの上ビニルクロス　GB-R12.5　GL工法　断熱材吹付
壁-ボード/RC		寒冷紗パテしごきの上ビニルクロス　GB-R12.5　GL工法
壁-木/断熱		杉羽目板12ｘ120　実付　木材保護塗装　木横胴縁50ｘ50@303　吹付断熱材ｔ50
壁-木/RC		杉羽目板12ｘ120　実付　木材保護塗装　木横胴縁15ｘ45@303
壁-RC		撥水剤（半透明指定色）化粧型枠打放しA種　設計ふかし10mm
壁-OSB/RC		OSBｔ7　サンダーがけ品　フィニッシュ留め　GB-R12.5　GL工法
壁-厨房/断熱		化粧ケイカル板ｔ6（不燃）、GB-S12.5　GL工法　吹付断熱材ｔ50
壁-厨房/RC		化粧ケイカル板ｔ6（不燃）、GB-S12.5　GL工法
壁-厨房/LGS		化粧ケイカル板ｔ6（不燃）、GB-S12.5　LGS下地
壁-ボード/LGS		寒冷紗パテしごきの上ビニルクロス　GB-R12.5ｘ2枚パリ　LGS下地
壁-耐水/LGS		寒冷紗パテしごきの上ビニルクロス　GB-S12.5+GB-R12.5　LGS下地
壁-OSB/LGS		OSBｔ7　サンダーがけ品　フィニッシュ留め　GB-R12.5x2枚ばり　LGS下地
壁-木/LGS		杉羽目板12ｘ120　実付　木材保護塗装　GB-R12.5ｘ2枚パリ　LGS下地
壁-木毛/LGS		木毛セメント板ｔ15　塗装品　専用ビス留め（同色塗装）GB-R12.5ｘ2枚パリ　LGS下地
壁-ボード		寒冷紗パテしごきの上ビニルクロス　GB-R12.5ｘ2枚パリ　木下地
壁-耐水		寒冷紗パテしごきの上ビニルクロス　GB-S12.5+GB-R12.5　木下地
壁-OSB		OSBｔ7　サンダーがけ品　フィニッシュ留め　GB-R12.5x2枚ばり　木下地
壁-木		杉羽目板12ｘ120　実付　木材保護塗装　GB-R12.5ｘ2枚パリ　木下地
壁-浴室下		磁器質タイルｔ10　300角　防水モルタルｔ20　FRP防水　（ライニング部：シンダーコンクリートｔ120ワイヤーメッシュΦ6@100）　吹付断熱材ｔ50　コンクリート
壁-浴室上		ヒノキ縦羽目板ｔ15木材保護塗装　GB-Sｔ12.5＋GB-Rt12.5　防湿防水シート
壁-〇〇/〇〇/防音		壁内にグラスウール16ｋ　ｔ50
壁-〇〇/〇〇/屋壁		杉羽目板12ｘ120実付　木材保護塗装　１F:FL+1200、２F：FL+1100まで
壁-〇〇/〇〇/屋壁準不燃		杉羽目板12ｘ120実付（準不燃木材）　木材保護塗装　１F:FL+1200、２F：FL+1100まで

年度別支払金額内訳書

件名	海老名市立わかば会館及び海老名市立障がい者地域活動センター 施設維持管理業務委託
契約金額（総額） ※税込で記載	
履行期間	海老名市立わかば会館 令和９年４月１日 から 令和12年３月31日
	海老名市立障がい者地域活動センター 令和９年５月１日 から 令和12年３月31日

１　海老名市立わかば会館

保守料合計		円（税込）
設備管理合計		円（税込）
清掃合計		円（税込）
合計		円（税込）

２　海老名市立障がい者地域活動センター

保守料合計		円（税込）
清掃合計		円（税込）
合計		円（税込）

※内訳金額について、保守料、設備管理、清掃の合計額は次のとおりとすること。

３　施設ごとの内訳金額

（１）海老名市立わかば会館

①保守料合計　　：予定価格15,680,280円（税込）以下

②設備管理合計＋清掃合計：予定価格40,277,610円（税込）以下

（２）海老名市立障がい者地域活動センター

①保守料合計　　：予定価格18,891,665円（税込）以下

②清掃合計　　：予定価格8,004,480円（税込）以下

年度別支払金額内訳書

件名	海老名市立わかば会館及び海老名市立障がい者地域活動センター施設維持管理業務委託
契約金額（総額） ※税込で記載	
履行期間	海老名市立わかば会館 令和９年４月１日 から 令和12年３月31日
	海老名市立障がい者地域活動センター 令和９年５月１日 から 令和12年３月31日

契約金支払内訳書

令和 ９年度　小計		円　（税込）

年　　月	海老名市立わかば会館				海老名市立障がい者地域活動センター		
	保守料	設備管理	清掃合計	支払金額（税込）	保守料	清掃合計	支払金額（税込）
令和９年４月分							
令和９年５月分							
令和９年６月分							
令和９年７月分							
令和９年８月分							
令和９年９月分							
令和９年10月分							
令和９年11月分							
令和９年12月分							
令和10年１月分							
令和10年２月分							
令和10年３月分							
合計							

年度別支払金額内訳書

件名	海老名市立わかば会館及び海老名市立障がい者地域活動センター施設維持管理業務委託
契約金額（総額） ※税込で記載	
履行期間	海老名市立わかば会館 令和９年４月１日 から 令和12年３月31日
	海老名市立障がい者地域活動センター 令和９年５月１日 から 令和12年３月31日

契約金支払内訳書

令和 10年度　小計		円　（税込）

年　　月	海老名市立わかば会館				海老名市立障がい者地域活動センター		
	保守料	設備管理	清掃合計	支払金額（税込）	保守料	清掃合計	支払金額（税込）
令和10年４月分							
令和10年５月分							
令和10年６月分							
令和10年７月分							
令和10年８月分							
令和10年９月分							
令和10年10月分							
令和10年11月分							
令和10年12月分							
令和11年１月分							
令和11年２月分							
令和11年３月分							
合計							

年度別支払金額内訳書

件名	海老名市立わかば会館及び海老名市立障がい者地域活動センター施設維持管理業務委託
契約金額（総額） ※税込で記載	
履行期間	海老名市立わかば会館 令和９年４月１日 から 令和12年３月31日
	海老名市立障がい者地域活動センター 令和９年５月１日 から 令和12年３月31日

契約金支払内訳書

令和 11年度　小計		円　（税込）

年　　月	海老名市立わかば会館				海老名市立障がい者地域活動センター		
	保守料	設備管理	清掃合計	支払金額（税込）	保守料	清掃合計	支払金額（税込）
令和11年４月分							
令和11年５月分							
令和11年６月分							
令和11年７月分							
令和11年８月分							
令和11年９月分							
令和11年10月分							
令和11年11月分							
令和11年12月分							
令和12年１月分							
令和12年２月分							
令和12年３月分							
合計							